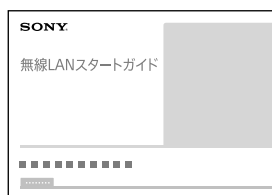


ホームオーディオシステム

取扱説明書



無線LANでの接続や再生方法については、
別冊の「無線LANスタートガイド」をご覧ください

お買い上げいただきありがとうございます。



警告

電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身
事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱い方を
示しています。この取扱説明書と別冊の「無線LANスタートガイド」をよくお読
みのうえ、製品を安全にお使いください。

お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

準備する

SongPalについて

CDを聞く

ラジオを聞く

USB機器の曲を聞く

iPhone/iPad/iPodの曲を聞く

つないだ機器の曲を聞く

BLUETOOTH®接続で聞く

無線LANに接続してワイヤレスで
聞く

ウォークマン®や“ポケットビット”に
録音する

その他の設定

Made for

iPhone | iPad | iPod



Works with
Apple AirPlay

Google cast



App Store
からダウンロード



Google Play
で手に入れよう



Bluetooth®



**警告**

安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品は間違った使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故につながることもあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。



安全のための注意事項を守る

以下の注意事項をよくお読みください。

定期的に点検する

設置時や1年に1度は、電源コードに傷みがないか、コンセントと電源プラグの間にほこりがたまっていないか、電源プラグがしっかり差し込まれているか、などを点検してください。

故障したら使わない

動作がおかしくなったり、キャビネットや電源コードなどが破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーの相談窓口にて修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら

変な音・においがしたら、煙が出たら



- ❶ 電源を切る。
- ❷ 電源プラグをコンセントから抜く。
- ❸ お買い上げ店またはソニーの相談窓口にて修理を依頼する。

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

**危険**

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じます。

**警告**

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなどの人身事故につながる場合があります。

**注意**

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号



火災



感電

指のケガに
注意

行為を禁止する記号



禁止



分解禁止



接触禁止



ぬれ手禁止

行為を指示する記号



指示

プラグをコン
セントから抜く



下記の注意事項を守らないと火災・感電により死亡や大けがの原因となります。

電源コードを傷つけない



電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。

- 設置時に、製品と壁や棚との間にはさみ込んだりしない。
- 電源コードを加工したり、傷ついたりしない。
- 重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
- 熱器具に近づけない。加熱しない。
- 移動させるときは、電源プラグを抜く。
- 電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。

万一、電源コードが傷んだら、お買い上げ店またはソニーの相談窓口に交換をご依頼ください。

湿気やほこり、油煙、湯気の多い場所や、直射日光のあたる場所には置かない



上記のような場所に置くと、火災や感電の原因となることがあります。特に風呂場などでは絶対に使用しないでください。

内部に水や異物を入れない
本機の上に熱器具、花瓶など液体が入ったものやローソクを置かない



火災や感電の危険をさけるために、本機を水のかかる場所や湿気のある場所では使用しないでください。また、本機の上に花瓶などの水の入ったものを置かないで下さい。本機の上に、例えば火のついたローソクのような、火災源を置かないで下さい。

万一、水や異物が入ったときは、すぐに本体の電源ボタンを切り、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

キャビネットを開けたり、分解や改造をしない



火災や感電、けがの原因となることがあります。内部の点検や修理はお買い上げ店またはソニーの相談窓口にご依頼ください。

雷が鳴りだしたら、アンテナ線や電源プラグに触れない



本機やアンテナ線、電源プラグなどに触れると感電の原因となります。

本機を日本国外で使わない



交流100Vの電源でお使いください。海外など、異なる電源電圧の地域で使用すると、火災・感電の原因となります。

可燃ガスのエアゾールやスプレーを使用しない



清掃用や潤滑用などの可燃性ガスを本機に使用すると、モーターやスイッチの接点、静電気などの火花、高温部品が原因で引火し、爆発や火災が発生するおそれがあります。

ガス管にアンテナ線をつながない



火災や爆発の原因となります。

LAN端子に指定以外のネットワークや電話回線を接続しない



LAN端子に下記のネットワークや回線を接続すると、コネクタに必要な以上の電流が流れ、故障や発熱、火災の原因となります。特に、ホームテレホンやビジネスホンの回線には、絶対に接続しないでください。

- 10BASE-T/100BASE-TXタイプ以外のネットワーク
- PBX(デジタル式構内交換機)回線
- ホームテレホンやビジネスホンの回線
- 上記以外の電話回線など



下記の注意事項を守らないと、けがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

ぬれた手で電源プラグにさわらない



感電の原因となることがあります。

ぬれ手禁止

風通しの悪い所に置いたり、通風孔をふさいだりしない



布をかけたり、毛足の長いじゅうたんや布団の上または機器を本箱や組み込み式キャビネットのような通気が妨げられる狭いところに設置しないで下さい。壁や家具に密着して置いて、通風孔をふさぐなど、自然放熱の妨げになるようなことはしないでください。過熱して火災や感電の原因となることがあります。

大音量で長時間つづけて聞かない



耳を刺激するような大きな音量で長時間つづけて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。特に

ヘッドホンで聞くときにご注意ください。呼びかけられたら気がつくくらいの音量で聞きましょう。

はじめからボリュームを上げすぎない



突然大きな音が出て耳をいためることがあります。ボリュームは徐々に上げましょう。特に、雑音の少ないデジタル機器をヘッドホンで聞くときにはご注意ください。

安定した場所に置く



禁止

ぐらついた台の上や傾いたところなどに置くと、製品が落ちてけがの原因となることがあります。また、置き場所の強度も充分に確認してください。

電源プラグは抜き差ししやすいコンセントに接続する



指示

本機は容易に手が届くような電源コンセントに接続し、異常が生じた場合は速やかにコンセントから抜いて下さい。通常、本機の電源スイッチを切っただけでは、完全に電源から切り離せません。

コード類は正しく配置する



禁止

本機に取り付ける電源コードやAVケーブルは、足に引っかけると機器の落下や転倒などにより、けがの原因となることがあります。充分に注意して接続、配置してください。

長期間使わないときは、電源プラグを抜く



指示

長期間使わないときは安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。絶縁劣化、漏電などにより火災の原因となることがあります。

お手入れの際、電源プラグを抜く



指示

電源プラグを差し込んだままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。

電池についての安全上の注意

液漏れ・破裂・発熱・発火・誤飲による大けがや失明を避けるため、下記の注意事項を必ずお守りください。



危険

電池の液が漏れたときは



禁止

素手で液をさわらない

電池の液が目に入ったり、身体や衣服につくと、失明やけが、皮膚の炎症の原因となることがあります。液の化学変化により、数時間たってから症状が現れることもあります。

必ず次の処理をする



指示

- 液が目に入ったときは、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い、ただちに医師の治療を受けてください。
- 液が身体や衣服についたときは、すぐにきれいな水で充分洗い流してください。皮膚の炎症やけがの症状があるときは、医師に相談してください。



警告

電池は乳幼児の手の届かない所に置く



禁止

電池は飲み込むと、窒息や胃などへの障害の原因となることがあります。万一、飲み込んだときは、ただちに医師に相談してください。

電池を火の中に入れない、加熱・分解・改造・充電しない、水でぬらさない、火のそばや直射日光のあたるところなど高温の場所で使用・保管・放置しない



禁止

破裂したり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となることがあります。

指定以外の電池を使わない、新しい電池と使用した電池ま

たは種類の違う電池を混ぜて使わない



禁止

電池の性能の違いにより、破裂したり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となることがあります。

＋と－の向きを正しく入れる



指示

＋と－を逆に入れると、ショートして電池が発熱や破裂をしたり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となることがあります。機器の表示に合わせて、正しく入れてください。

使い切ったときや、長時間使用しないときは、電池を取り出す



指示

電池を入れたままにしておくと、過放電により液が漏れ、けがややけどの原因となることがあります。

使用済み電池は家庭ごみとして棄てない



指示

ご使用済みの電池は家庭ごみとして棄てないで、リサイクルボックスに入れてください。

ワイヤレス機能ご使用上のご注意



警告

病院などの医療機関内、医療用電気機器の近くではワイヤレス機能を使用しない



禁止

電波が影響を及ぼし、医療用電気機器の誤動作による事故の原因となるおそれがあります。

本製品を使用中に他の機器に電波障害などが発生した場合は、ワイヤレス機能の使用を中止する



指示

電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。

録音についてのご注意

- 大切な録音の場合は、必ず事前にためし録りをし、正常に録音されていることを確認してください。
- 本機を使用中、万一不具合により録音されなかった場合の録音内容の補償については、ご容赦ください。
- あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

ステレオを聞くときのエチケット



ステレオで音楽をお楽しみになるときは、隣近所に迷惑がかからないような音量でお聞きください。特に、夜は小さな音でも周囲にはよく通るものです。

窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるなどお互いに心を配り、快適な生活環境を守りましょう。

このマークは音のエチケットのシンボルマークです。

正常な使用状態で本製品に故障が生じた場合、当社は本製品の保証書に定められた条件にしたがって修理を致します。ただし、本製品の故障、誤動作または不具合により、録音、再生などにおいて利用の機会を逸したために発生した損害等の付随的損害の補償については、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

CD-DAディスク再生時のご注意

本製品は、コンパクトディスク(CD)規格に準拠した音楽ディスクの再生を前提として、設計されています。最近、いくつかのレコード会社より著作権保護を目的とした技術が搭載された音楽ディスクが販売されていますが、これらの中にはCD規格に準拠していないものもあり、本製品で再生・録音できない場合があります。

DualDiscについてのご注意

DualDiscとはDVD規格に準拠した面と、音楽専用面とを組み合わせた新しい両面ディスクです。なお、この音楽専用面はコンパクトディスク(CD)規格には準拠していないため、本製品での再生は保証いたしません。

商標について

- Google、Android、Google Play、Google Cast、およびその他の関連マークおよびロゴは、Google LLCの商標です。
 - Windows、Windowsロゴ、Windows Mediaは、Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標あるいは登録商標です。
 - 本機はMicrosoft Corporationの知的所有権により保護されています。Microsoft またはその認可された子会社の許可なしにこの製品に関わる技術を使用、販売することは禁止されています。
 - Apple、Apple logo、AirPlay、iPad、iPad Air、iPhone、iPod、iPod classic、iPod nano、iPod touch、Mac、macOSおよびiTunesは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。App StoreはApple Inc.のサービスマークです。
 - 「iPhone」の商標は、アイホン株式会社からライセンスを受け使用しています。
 - 「Made for Apple」バッジは、アクセサリが本バッジに記載されたアップル製品専用に接続するように設計され、アップルが定める性能基準を満たしていることを示します。
- アップルは、本製品の機能および安全および規格への適合について一切の責任を負いません。
- 本アクセサリをアップル製品と共に使用すると、ワイヤレス機能に影響を及ぼす可能性があります。

- Wi-Fi®、Wi-Fi Protected Access® およびWi-Fi Alliance®はWi-Fi Alliance®の登録商標です。
- Wi-Fi CERTIFIED™、WPA™、WPA2™ および Wi-Fi Protected Setup™はWi-Fi Alliance®の商標です。
-  Wi-FiロゴはWi-Fi Allianceの認証マークです。
- DLNA™、DLNA ロゴおよびDLNA CERTIFIED™はDigital Living Network Allianceの商標、サービスマークあるいは認証マークです。
- ウォークマン®、WALKMAN®、WALKMAN®ロゴは、ソニー株式会社の登録商標です。
- 本機はFraunhofer IISおよびThomsonの MPEG Layer-3オーディオコーディング技術と特許に基づく許諾製品です。
- BLUETOOTH®ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標であり、ソニー株式会社はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。
- Nマークは米国およびその他の国におけるNFC Forum, Inc.の商標または登録商標です。
- XperiaおよびXperia Tabletは、Sony Mobile Communications ABの商標です。
- LDAC™およびLDACロゴは、ソニー株式会社の商標です。
- "DSEE"および **DSEE** はソニー株式会社の商標です。
- "S-Master"はソニー株式会社の商標です。
- ClearAudio+及び **ClearAudio+** はソニー株式会社の商標です。
- AOSS™は株式会社バッファローの商標です。
- その他、本書で登場するシステム名、製品名、サービス名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中では®、™マークは明記していません。

取扱説明書について



取扱説明書(本書)

安全のための注意事項、BLUETOOTH接続／再生方法、困ったときはなどを記載しています。



無線LANスタートガイド(別冊)

無線LANでの接続／再生方法を記載しています。



ヘルプガイド(パソコンやスマートフォンで閲覧できます)

パソコンのOSごとの詳しい接続／再生方法や、無線LAN接続方法など、本機の詳しい使いかたを記載しています。

<http://rd1.sony.net/help/speaker/cmt-sx7/ja/>



目次

 警告 安全のために.....	2
取扱説明書について	6

準備する

各部の名前と働き.....	9
リモコンに電池を入れる	12

SongPalについて

SongPalでできること.....	13
--------------------	----

CDを聞く

CD-DA/MP3ディスクを再生する ...	14
再生モードを変える.....	14
好きな順に曲を聞く	15

ラジオを聞く

ラジオ局を受信する.....	16
ラジオ局を登録する (プリセット)	16

USB機器の曲を聞く

USB機器の曲を再生する.....	17
前面のUSB端子に接続して聞く	17
背面のUSB端子に接続して聞く	18
再生できるオーディオ形式.....	18

iPhone/iPad/iPodの曲を聞く

USB接続で再生する	19
ワイヤレスで再生する (AirPlay)	19

つないだ機器の曲を聞く

つないだ機器の曲を再生する	20
OPTICAL IN (オプティカル入力) 端子に つないだ機器の曲を再生する	20
LINE IN (外部入力) 端子につないだ機 器の曲を再生する	20

BLUETOOTH®接続で聞く

BLUETOOTH機器をペアリング(機器 登録)して音楽を聞く	21
登録済みの機器の音楽を聞く	22
ワンタッチで接続して音楽を聞く (NFC)	22
高音質コーデック(AAC/LDAC)で再生 する	23

無線LANに接続してワイヤレスで聞く

ネットワークへの接続方法を選ぶ ...	24
パソコンから接続する	24
複数のスピーカーで同じ音楽を聞く (SongPal Link機能)	26
ミュージックサービスに接続して音楽を 聞く	26

ウォークマン®や“ポケットビット”に録音する

CDやラジオ、つないだ機器からウォー クマン®や“ポケットビット”に 録音する	27
CDの曲を録音する	27
ラジオやつないだ機器の曲を 録音する	28
ビットレートを変更する	29
録音した曲の保存先について	29
フォルダ名とファイル名について.....	30
本機で録音した曲を削除する.....	31

その他の設定

オートスタンバイ機能を設定する	33
BLUETOOTH／ネットワークスタンバイモードを設定する	33
無線信号オン／オフを設定する	34
音質を調整する	34
時計を合わせる	35
タイマーを使う	35
スリープタイマーを設定する	35
再生タイマー／録音タイマーを設定する	35
ソフトウェアをアップデートする	37
方法1: ネットワーク経由で、自動でアップデートする	37
方法2: ネットワーク経由で、手動でアップデートする	38
方法3: USBメモリーをつないで、手動でアップデートする	38
ネットワーク経由のアップデートに失敗したときは	39

使用上のご注意・主な仕様

使用上のご注意	40
対応機器とバージョン	41
ウォークマン®	41
iPhone/iPad/iPod対応モデル	41
DLNA機器	41
USB機器	41
BLUETOOTH機器	41
BLUETOOTH無線技術について	42
BLUETOOTH機器について	43
無線LAN機能について	43
無線の周波数について	43
故障かな？と思ったら	44
メッセージ一覧	50
保証書とアフターサービス	51
主な仕様	52

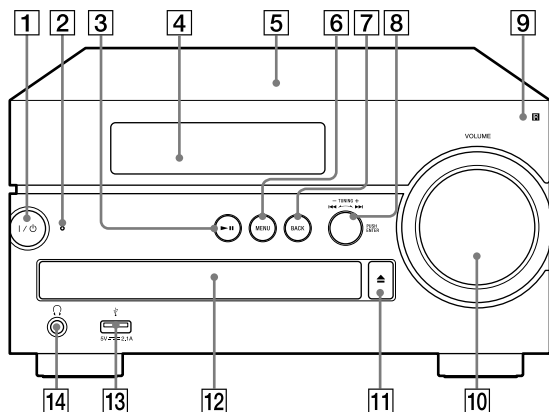
準備する

各部の名前と働き

ご注意

本書では、主にリモコンのボタンを使った操作を説明しています。リモコンと同じ名前の本体のボタンは、同じ働きをします。

本体(前面)



1 I/O(電源) ボタン

本機の電源を入/切します。

2 スタンバイランプ

電源が「入」のとき黄緑色に点灯し、「切」のとき消灯します。赤色に点滅している場合は異常を検出しています(45ページ)。
BLUETOOTH/ネットワークスタンバイモード時は橙色に点灯します。

3 再生/一時停止 ボタン

曲を再生/一時停止します。

4 表示窓

5 Nマーク

NFCまたはFeliCa機能を搭載したスマートフォン/タブレットを近づけると、ワンタッチでBLUETOOTHの機器登録や接続/解除ができます(22ページ)。

6 MENU(メニュー) ボタン

メニューを表示します。リモコンの↑/↓を押して、メニュー内の項目を選択します。

7 BACK(バック) ボタン

操作前の状態に戻します。

8 ◀◀/▶▶(前/次)/TUNING(選局) -/+ダイヤル

- 曲の頭出しをします。
- 聞きたいラジオ局の周波数を選びます。

PUSH ENTER(決定) ボタン

押すと、リモコンのENTER(決定) ボタンと同じ働きをします。

9 リモコン受光部

10 VOLUME(音量)ダイヤル

音量を調節します。

11 ▲(ディスクトレイ開閉) ボタン

ディスクトレイが開閉します。

12 ディスクトレイ

印刷面を上にしてCDをセットします。

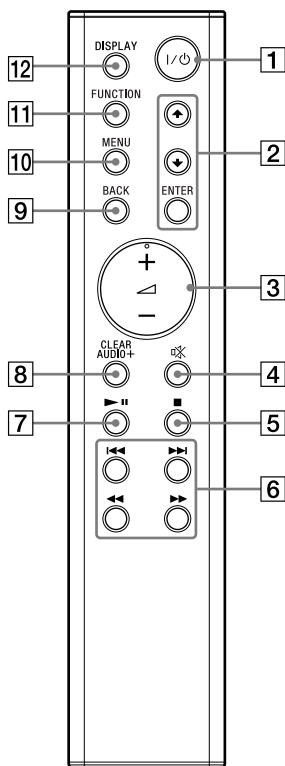
13 ♪(USB FRONT) 端子

USB機器をつなぎます(17ページ)。

14 ⦿(ヘッドホン) 端子

ヘッドホンを接続します。

リモコン



1 I/O(電源) ボタン

本機の電源を入/切します。

2 ↑/↓/ENTER(決定) ボタン

↑/↓で項目を選び、ENTERボタンで確定します。
また、↑/↓でMP3ディスクやUSB機器のフォルダ(アルバム)を選択します。

3 ▲(音量) +/ー ボタン

音量を調節します。

4 ㊦(消音) ボタン

消音します。もう一度押すと、元に戻ります。

5 ■(停止) ボタン

再生や録音を停止します。

6 ◀◀/▶▶(前/次、プリセッター/+) ボタン

- 曲の頭出しをします。
- 登録したラジオ局のプリセット番号を選びます。

◀◀/▶▶(早戻し/早送り、選局-/+) ボタン

- 曲の早戻しや早送りをします。

- 聞きたいラジオ局の周波数を選びます。

7 ▶|| (再生/一時停止) ボタン

曲を再生/一時停止します。

8 CLEARAUDIO+ ボタン

ソニーおすすめの音質に設定します。

9 BACK(戻る) ボタン

操作前の状態に戻します。

10 MENU(メニュー) ボタン

メニューを表示します。↑/↓を押して、メニュー内の項目を選択します。

11 FUNCTION(ファンクション) ボタン

ボタンを押すたびに、本機のファンクションを以下の順で切り換えます。

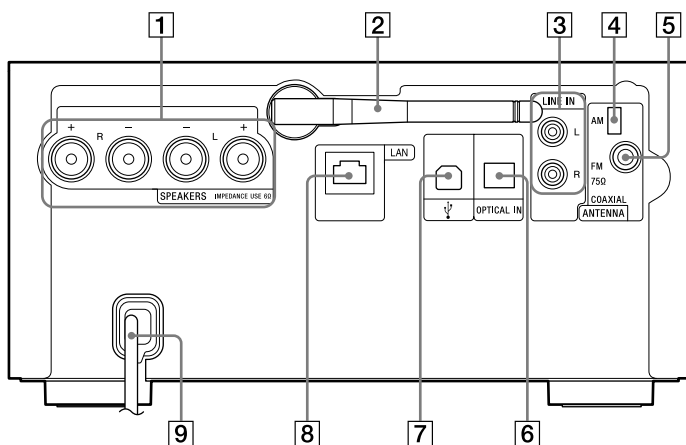
CD→USB FRONT→USB REAR→
BLUETOOTH→TUNER FM→TUNER AM→
OPTICAL IN→LINE IN→NETWORK

12 DISPLAY(表示切換) ボタン

電源「入」時に押すと、表示窓に表示される内容を切り換えます。本機で表示されない文字は、アンダースコア()が表示されます。

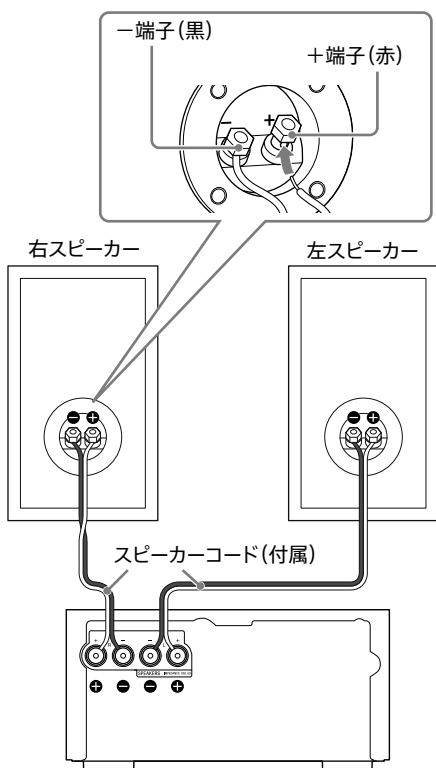
電源「切」時に押すと、時計を表示します。ただし、BLUETOOTH/ネットワークスタンバイモードがオンのときは、時計は表示されません。

本体(背面)



① SPEAKERS L/R(スピーカー左/右) 端子

以下のようにスピーカーをつなぎます。

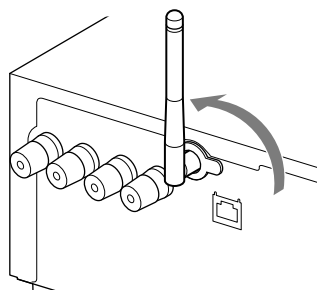


ご注意

スピーカーコードをつなぐときは、本機の電源を切ってください。

② 無線LANアンテナ

本機の無線ネットワーク機能を使用する場合は、図のようにセットしてください。



③ LINE IN(外部入力) 端子

別売りのオーディオケーブルを使って外部機器の出力端子を接続します。

④ AM ANTENNA (AMアンテナ) 端子

AMループアンテナをつなぎます。

⑤ FM ANTENNA (FMアンテナ) 端子

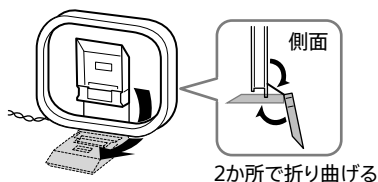
FMアンテナをつなぎます。

ご注意

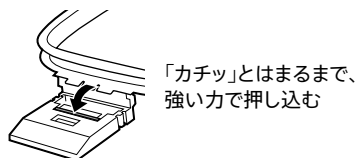
- 受信状態の良い場所や方向を探して窓や壁に固定してください。
- 雑音の原因になるため、AMループアンテナは本体や電源コード、他のAV機器から離してください。
- FMアンテナは、先端をテープなどで固定してください。

AMループアンテナをセットするには

① 台座を図のように倒して折り曲げる。



② フレームの突起部を台座の溝にはめ込む。



⑥ OPTICAL IN (オプティカル入力) 端子

別売りのオプティカルケーブルを使って外部機器の出力端子を接続します。

ご注意

OPTICAL IN (オプティカル入力) 端子は、PCM以外のフォーマットに対応していません。接続機器側の出力をPCMに設定してください。

⑦ Ψ (USB REAR) 端子

USBケーブル (付属) を使って、パソコンやMacをつなぎます。ハイレゾ対応ウォークマン®やXperiaをつなぐときは、専用ケーブル (別売) を使って、USBケーブル (付属) とウォークマン®やXperiaをつなぎます (18ページ)。

USB-DACとして使うことができます。

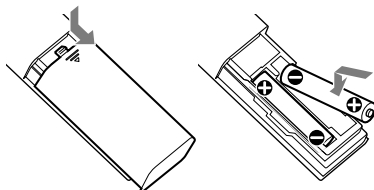
⑧ LAN端子

市販のネットワーク (LAN) ケーブルで、ネットワーク機器に接続します (24ページ)。

⑨ 電源コード

リモコンに電池を入れる

⊕と⊖の向きを合わせて、リモコンに単4形乾電池 (R03、付属) 2個を入れます。イラストのように⊖極側から入れてください。



ご注意

- 電池は充電しないでください。
- 液漏れしたときは、電池入れについた液をよく拭き取ってから新しい電池を入れてください。
- リモコンを使うときは、リモコン受光部に直射日光や照明器具などの強い光が当たらないようにしてください。リモコンで操作できないことがあります。
- 電池の交換時期は約6か月です。リモコンを本体に近づけないと操作しづらくなったら、2個とも新しい電池に交換してください。

SongPalについて

SongPalでできること

SongPalとは、スマートフォン/iPhoneから、SongPal対応のソニー製オーディオ機器を操作するためのアプリです。

Google Play(Playストア)またはApp StoreでSongPalを検索して、ダウンロードしてください。



お手持ちのスマートフォンやiPhoneにSongPalをダウンロードすると、以下のことができます。

ミュージックサービスの利用*

ミュージックサービスを利用するための初期設定を行います。ミュージックサービスを利用するには、第三者が提供するサービスをご利用ください。

ホームネットワーク上の機器操作

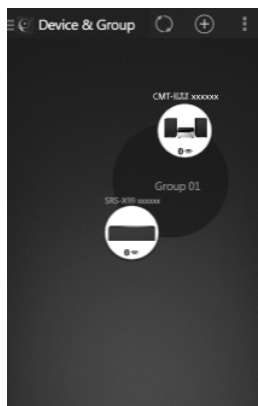
ホームネットワーク上のパソコンやサーバーなどに保存された音楽を再生できます。

以下の機能は本体だけでも操作可能ですが、SongPalを使っても操作することができます。

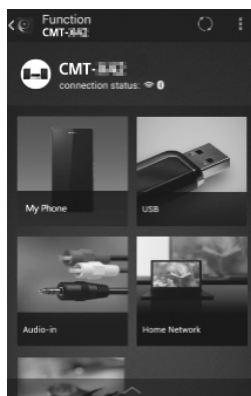
- CDの操作: CDを再生します。
- USB接続された機器操作: 本機のΨ(USB FRONT)端子に接続された機器の音楽を再生できます。
- ラジオの操作: ラジオ局を受信します。

* ミュージックサービスによって、利用できる時期や契約の有無が異なります。本体のアップデートが必要な場合があります。
第三者が提供するサービスは予告なく、変更・停止・終了することがあります。ソニーは、そのような事態に対していかなる責任も負いません。

オーディオ機器によってSongPalでできる操作は異なります。アプリの仕様および画面デザインは予告なく変更する場合があります。



ホームネットワーク上の機器の全体図を見ることができます。また、再生するオーディオ機器を選んだり、SongPal Link(マルチルーム機能)を使ってオーディオ機器をグループ化したりできます。



再生できる音源を一覧表示して、選ぶことができます。また、オーディオ機器側のサウンド設定や、ネットワーク設定などができます。

▶ 詳しくはSongPalヘルプをご覧ください
<https://www.sony.net/smcqa/>



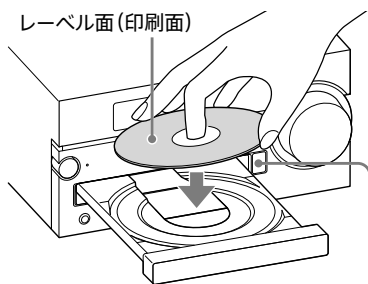
CDを聞く

CD-DA/MP3ディスクを再生する

1 FUNCTIONボタンを押して、「CD」を選ぶ。

2 ▲(ディスクトレイ開閉) ボタンを押して、ディスクトレイを開く。

3 ディスクのレーベル面を上にしてディスクをセットする。



▲(ディスクトレイ開閉) ボタン

4 ▲(ディスクトレイ開閉) ボタンを押して、ディスクトレイを閉める。

5 ►|| (再生/一時停止) ボタンを押す。

再生が始まります。

リモコンや本体のボタンで、早戻し/早送りや、選曲、フォルダ選択 (MP3ディスクの場合) などの操作ができます。

ご注意

表示窓の「Reading」の表示が消えてから、►|| ボタンを押してください。

CDを取り出すには

本体の▲ボタンを押します。

ちょっと一言

本機の電源が「切」のときに▲(ディスクトレイ開閉) ボタンを押すと、本機の電源が入り、ディスクトレイが開きます。

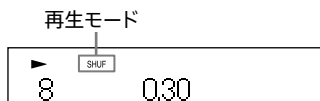
ご注意

• 特殊な形状 (ハート型、カード型、星型など) のCDをセットしないでください。修復不能な損傷を本機に与えるおそれがあります。

- テープやシールの貼られたCD、接着剤ののりが付着したCDなどは、故障するおそれがあるため、本機では使わないでください。
- CDを取り出すときは、記録面に触れないようご注意ください。

再生モードを変える

再生モードを変えると、曲を繰り返し再生したり、並べ換えて再生したりできます。



1 ■を押して再生を停止する。

手順4で「Repeat」(リピート再生) を選ぶ場合は、再生を停止する必要はありません。

2 MENUボタンを押す。

3 ↑/↓で「CD Menu」を選び、ENTERボタンを押す。

4 ↑/↓で「Playmode」または「Repeat」を選び、ENTERボタンを押す。

5 ↑/↓で再生モードを選び、ENTERボタンを押す。

次の再生モードを選べます。

「Playmode」を選んだとき

再生モード	再生のしかた
Normal (ノーマル再生)	通常の曲順で再生します。
Folder (フォルダ再生)*	選択したフォルダ内の曲のみを通常の曲順で再生します。 表示窓に「FLDR」が点灯します。
Shuffle (シャッフル再生)	曲をランダムに並べ換えて再生します。 表示窓に「SHUF」が点灯します。
Folder Shuffle (フォルダシャッフル再生)*	選んだフォルダ内の曲のみを、ランダムに並べ換えて再生します。 表示窓に「FLDR SHUF」が点灯します。

再生モード	再生のしかた
Program (プログラム再生)	お好みの曲順に並べ換えて再生します。 表示窓に「PGM」が点灯します。詳しくは、「好きな順に曲を聞く(プログラム再生)」(15ページ)をご覧ください。

* MP3ディスク再生時のみ。CD (CD-DAディスク) が再生対象のときは、ノーマル再生またはシャッフル再生と同じ動作となります。

「Repeat」を選んだとき

再生モード	再生のしかた
All (全曲リピート再生)	CDやフォルダ内の全曲を繰り返し再生します。 表示窓に「G」が点灯します。
One (1曲リピート再生)	選んだ1曲のみを繰り返し再生します。 表示窓に「G1」が点灯します。
Off (リピート再生オフ)	リピート再生しません。

MP3ディスクについてのご注意

- MP3ディスク作成の際には、不要なフォルダやファイルをMP3ファイルといっしょに記録しないでください。
- 拡張子が「.mp3」のオーディオファイルのみ再生できます。拡張子が「.mp3」でも、MP3形式のオーディオファイルでない場合は再生できません。このようなファイルの再生は、大音量のノイズや本機の故障の原因となりますので、ご注意ください。
- MP3ディスクに対する本機の上限は次のとおりです。
 - 最大フォルダ数: 999* (ルートフォルダ含む)
 - 最大ファイル数: 999
 - 1つのフォルダ内で認識可能な最大ファイル数: 250
 - 認識可能な最大階層(フォルダ)レベル: 8
- * MP3ファイルが存在しないフォルダ、空フォルダも含まれます。フォルダ構成によっては本機で認識できるフォルダ数が少なくなる場合があります。
- 本機は、エンコードソフトウェアや書き込み用ソフトウェア、CD-R/RWドライブ、使用メディアなど、MP3ディスクの作成に必要な機器やソフトウェアのすべてを保証するものではありません。作成したMP3ディスクが本機での再生に適さない場合、ノイズが再生される、再生が途切れる、まったく再生されないなど、不具合が発生するおそれがあります。

好きな順に曲を聞く

(プログラム再生)

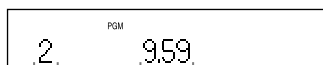
CDの曲を、お好みの曲順に並べ換えて再生します。

1 「再生モードを変える」(14ページ)の手順5で「Program」を選び、ENTERボタンを押す。

2 MP3ディスクの場合は、↑/↓を押して、プログラムしたい曲が入ったフォルダを選ぶ。

フォルダ内の全曲をプログラムしたい場合は、ENTERボタンを押します。

3 ◀◀/▶▶で、プログラムしたい曲を選び、ENTERボタンを押す。



選んだ曲番 プログラムした曲(ステップ)の総演奏時間

上記の手順を繰り返して、プログラムを行います。

4 ▶||を押す。

プログラム再生が始まります。

プログラム再生を中止するには

手順1で「Program」の代わりに「Normal」を選び、ENTERボタンを押します。

プログラムしたステップ(曲やフォルダ)を削除するには

停止中に、■ボタンを押します。ボタンを押すたびに、最後にプログラムしたステップから削除されます。ステップをすべて削除すると、「No Step」が表示されます。

ちょっと一言

- 25ステップまでプログラムできます。それ以上のステップをプログラムしようとすると、「Step Full!」が表示されます。不要なステップを削除してください。
- プログラム再生後、同じプログラムを再生するには、▶||ボタンを押してください。

ご注意

CDを取り出したり、電源コードを抜いたりすると、ステップはすべて削除されます。

ラジオを聞く

ラジオ局を受信する

1 FUNCTIONボタンを押して、「TUNER FM」(FM放送)、または、「TUNER AM」(AM放送)を選ぶ。

2 ◀◀/▶▶を押したままにし、表示窓の周波数表示の数字が動き始めたら指を離す。

ラジオ局を受信すると自動的に止まります(オートチューニング)。

FMステレオ放送を受信すると、表示窓に「STEREO」が点灯します。

手動で選局するには (マニュアルチューニング)

◀◀/▶▶ボタンを繰り返し押して、聞きたいラジオ局の周波数に合わせます。

FMステレオ放送の受信中に雑音が多いときは

以下の手順でモノラル受信に切り換えてください。雑音を低減できます。

1 受信中にMENUボタンを押す。

2 ↑/↓で「Tuner Menu」を選び、ENTERボタンを押す。

3 ↑/↓で「FM Mode」を選び、ENTERボタンを押す。

4 ↑/↓で「Mono」を選び、ENTERボタンを押す。

ステレオ放送で受信したい場合は、手順4で「Stereo」を選んでください。

ラジオ局を登録する (プリセット)

お好みのラジオ局を登録しておくことができます。

1 受信中にMENUボタンを押す。

2 ↑/↓で「Tuner Menu」を選び、ENTERボタンを押す。

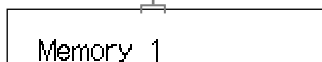
AM放送の場合は、「AM Preset Memory」を選び、手順4に進んでください。

3 ↑/↓で「FM Preset Memory」(FM放送の場合)を選び、ENTERボタンを押す。

4 ↑/↓で「Ok」を選び、ENTERボタンを押す。

5 ↑/↓でプリセット番号を選び、ENTERボタンを押す。

プリセット番号



表示窓に「Complete!」が表示され、選んだ番号にラジオ局が登録されます。

上記の手順を繰り返して、他の放送局を登録してください。

6 I/⏻を押して本機の電源を切り、もう一度押して、電源を入れる。

ちょっと一言

- FM放送は20局まで、AM放送は10局まで登録することができます。
- 手順5で登録済みの番号を選んだときは、受信中のラジオ局の登録に入れ換わります。

登録したラジオ局を聞くには

リモコンのI◀◀/▶▶Iボタンを押して、聞きたいラジオ局のプリセット番号を選びます。

USB機器の曲を聞く

USB機器の曲を再生する

ウォークマン®や“ポケットビット”などのUSB機器を本機につないで、USB機器に保存されている曲を本機で聞くことができます。

本機背面のΨ(USB REAR)端子には、パソコンやハイレゾ対応のウォークマン®、Xperiaをつなぐこともできます。

対応するUSB機器について詳しくは、「対応機器とバージョン」(41ページ)をご覧ください。

ご注意

ハイレゾ音源を再生する場合は、USB2.0 High Speed対応機器を使用してください。

前面のUSB端子に接続して聞く

1 FUNCTIONボタンを押して、「USB FRONT」を選ぶ。

2 本機前面のΨ(USB FRONT)端子にUSB機器をつなぐ。

USB機器を直接接続するか、USB機器に付属のケーブルで接続してください。
表示窓の「Reading」の表示が消え、「ROOT」が表示されるまでお待ちください。

3 ▶||を押す。

再生が始まります。
リモコンや本体のボタンで操作してください。
「ROOT」が表示されているときに、ENTERボタンを押すと、選曲やフォルダ選択などの操作ができます。

ちょっと一言

- USB機器の再生でも、再生モードを選べます。MENUボタンを押して、「USB Menu」を選び、続いて「Playmode」または「Repeat」を選びます。詳しくは、「再生モードを変える」(14ページ)をご覧ください。
なお、USB機器を再生するときは、フォルダ再生やフォルダシャッフル再生、プログラム再生はできません。
- USB機器を本機前面のΨ(USB FRONT)端子につなぐと、自動的に充電を開始します。USB機器が充電されない場合は、USB機器を取りはずして、再度接続してください。USB機器の充電状態について詳しくは、USB機器の取扱説明書をご覧ください。

ご注意

- x-アプリで転送した曲は、本機で再生できません。
- 本機での再生順序は、接続されたデジタル音楽プレーヤーの再生順序とは異なる場合があります。
- USB機器を取りはずすときは、本機の電源を切ってください。電源が入っている状態でUSB機器を取りはずすと、USB機器に保存されているデータが破損することがあります。
- USBケーブルの接続が必要な場合は、接続するUSB機器に付属されているUSBケーブルを使用してください。接続のしかたについて詳しくは、USB機器に付属されている取扱説明書をご覧ください。
- USB機器によっては、接続後「Reading」が表示されるまでに時間がかかる場合があります。
- USBハブを介して、本機とUSB機器を接続しないでください。
- USB機器が接続されると、本機はUSB機器に保存されているすべてのファイルの読み込みを開始します。USB機器に保存されているフォルダやファイル数が多いと、読み終えるまでに時間がかかることがあります。
- 接続したUSB機器によっては、操作に対する反応が遅くなる場合があります。
- 本機は、エンコードソフトウェアや書き込み用ソフトウェアとの互換性についてすべてを保証するものではありません。USB機器内に保存されているオーディオファイルが元々互換性のないソフトウェアでエンコードされている場合、ノイズが発生する、再生が途切れる、まったく再生されないなど不具合が発生するおそれがあります。
- 本機は、接続したUSB機器側で提供されるすべての機能をサポートしていません。
- 温度が高い環境では、USB機器への充電が停止します。

背面のUSB端子に接続して 聞く

パソコンのハイレゾ音源を聞くには専用ドライバー*のインストールが必要です。

* macOSの場合は専用ドライバーのインストールは不要です。

1 専用ドライバーを下記からダウンロードする。

<https://www.sony.jp/support/netjuke/>

2 専用ドライバーをインストールする。

サイトの指示に従ってインストールしてください。

3 FUNCTIONボタンを押して、「USB REAR」を選ぶ。

4 本機背面のψ(USB REAR)端子にパソコンやハイレゾ対応ウォークマン®、Xperiaをつなぐ。

接続したパソコンやハイレゾ対応ウォークマン®、Xperiaを操作して再生を行ってください。詳しくは、パソコンやハイレゾ対応ウォークマン®、Xperiaの取扱説明書をご覧ください。

ご注意

- 本端子にハイレゾ対応ウォークマン®やXperiaをつなぐときは、USBケーブル(付属)と専用ケーブル(別売)を使用してください。
- パソコンをつないでハイレゾ音源を再生する場合は、音楽再生用プレーヤーソフト「Hi-Res Audio Player」の使用をおすすめします (Windows/macOS対応)。「Hi-Res Audio Player」は、ビットパーフェクト再生に対応しています。下記から無料でダウンロードできます。
<https://www.sony.jp/support/netjuke/>
- ψ(USB REAR)端子ではUSB機器の充電はできません。

再生できるオーディオ形式

本機で再生できるオーディオ形式については、「USB端子部」(52ページ)をご覧ください。

iPhone/iPad/iPodの曲を聞く

USB接続で再生する

iPhone/iPad/iPodを本機前面の⚡(USB FRONT) 端子につないで再生できます。対応するiPhone/iPad/iPodについて詳しくは、「対応機器とバージョン」(41ページ)をご覧ください。

- 1 FUNCTIONボタンを押して、「USB FRONT」を選ぶ。
- 2 iPhone/iPad/iPodに付属のUSBケーブルで、iPhone/iPad/iPodを本機前面の⚡(USB FRONT) 端子につなぐ。
表示窓の表示が「iPod」に切り換わります。
- 3 ▶||を押す。
再生が始まります。
リモコンや本体のボタンで、早戻し／早送りや選曲などの操作ができます。

ちょっと一言

iPhone/iPad/iPodを本機につなぐと、自動的に充電を開始します。iPhone/iPad/iPodが充電されない場合は、接続し直してください。iPhone/iPad/iPodの充電状態について詳しくは、iPhone/iPad/iPodの取扱説明書をご覧ください。

ご注意

- iPhone/iPad/iPodを取りはずすときは、本機の電源を切ってください。電源が入っている状態でiPhone/iPad/iPodを取りはずすと、iPhone/iPad/iPodに保存されているデータが破損することがあります。
- iPhone/iPad/iPodを接続したままの状態でも、本機を移動しないでください。故障の原因となることがあります。
- iPhone/iPad/iPodの使用については、iPhone/iPad/iPodに付属されている取扱説明書もご覧ください。
- 本機でのiPhone/iPad/iPodの使用により、iPhone/iPad/iPodに保存されているデータが万一消えたり、あるいは変更された場合、弊社は一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

ワイヤレスで再生する (AirPlay)

本機とワイヤレスで接続し再生します。詳しくは、別冊の「無線LANスタートガイド」をご覧ください。

つないだ機器の曲を聞く

つないだ機器の曲を再生する

外部出力のある機器を本機につないで、つないだ機器の曲を本機で聞くことができます。

ご注意

- あらかじめ、 ボタンを押して、音量を下げてください。
- つないだ機器の音量が小さすぎると、本機のオートスタンバイ機能によって自動的にスタンバイモードに移行します。詳しくは、「オートスタンバイ機能を設定する」(33ページ)をご覧ください。

OPTICAL IN (オプティカル入力) 端子につないだ機器の曲を再生する

- 1 FUNCTIONボタンを押して、「OPTICAL IN」を選ぶ。
- 2 本機背面のOPTICAL IN (オプティカル入力) 端子に外部機器の出力端子をつなぐ。
- 3 つないだ機器を再生する。
再生が始まったら、つないだ機器側の音量を調節してください。
- 4  + / - ボタンを押して、音量を調節する。

ご注意

OPTICAL IN (オプティカル入力) 端子は、PCM以外のフォーマットに対応していません。接続機器側の出力をPCMに設定してください。

LINE IN (外部入力) 端子につないだ機器の曲を再生する

- 1 FUNCTIONボタンを押して、「LINE IN」を選ぶ。
- 2 本機背面のLINE IN (外部入力) 端子に外部機器の出力端子をつなぐ。
- 3 つないだ機器を再生する。
再生が始まったら、つないだ機器側の音量を調節してください。
- 4  + / - ボタンを押して、音量を調節する。

BLUETOOTH®接続で聞



BLUETOOTH機器をペアリング(機器登録)して音楽を聞く

BLUETOOTH機器に保存された曲をワイヤレスで楽しめます。はじめに、BLUETOOTH機器を本機にペアリング(機器登録)します。

ご注意

- 本機とBLUETOOTH機器を1 m以内に置いてください。
- お使いのBLUETOOTH機器がワンタッチ接続(NFC)に対応している場合は、次の手順を行う必要はありません。「ワンタッチで接続して音楽を聞く(NFC)」(22ページ)をご覧ください。

- 1 FUNCTIONボタンを押して、「BLUETOOTH」を選ぶ。
- 2 MENUボタンを押す。
- 3 ↑/↓で「Bluetooth Menu」を選び、ENTERボタンを押す。
- 4 ↑/↓で「Pairing」を選び、ENTERボタンを押す。
- 5 ↑/↓で「Ok」を選び、ENTERボタンを押す。
表示窓の「Pairing」の表示が点滅を開始し、本機がペアリングモードになります。
- 6 BLUETOOTH機器側で本機を検索する。
BLUETOOTH機器の画面に、検出した機器の一覧が表示されます。
- 7 「CMT-SX7」(本機)を選ぶ。

BLUETOOTH機器の画面でパスコードの入力を要求された場合は、「0000」を入力してください。

本機が表示されない場合は、もう一度手順1から操作してください。

ペアリングが完了すると、表示窓の「Pairing」が接続したBLUETOOTH機器名に切り換わります。表示窓のBLUETOOTHマークが点灯します。

8 BLUETOOTH機器で音量を調節し音楽を再生する。

再生が始まります。

BLUETOOTH機器によっては、▶||ボタンをもう一度押してください。また、BLUETOOTH機器でミュージックプレーヤーの起動が必要な場合があります。

ちょっと一言

- BLUETOOTH接続中でも、他のBLUETOOTH機器とのペアリングや接続を行うことができます。その場合は、現在の接続は解除されます。
- リモコンや本体のボタンで、早戻し/早送りや、選局、フォルダ選択などの操作ができます。
- ペアリング操作時は、BLUETOOTH機器の音楽再生を停止しておいてください。再生したまま操作すると、接続完了後、本機から大音量で出力される場合があります。
- SongPalにはBLUETOOTH接続による音楽再生機能はありません。BLUETOOTH機器(スマートフォンやパソコンなど)の音楽再生ソフトウェアで再生してください。

ご注意

- 一部のBLUETOOTH機器では、上記の操作に対応していない場合があります。また、機器によっては、実際の動作は異なります。
- 一度ペアリングを行った機器は、再びペアリングする必要はありませんが、以下の場合は再度ペアリングが必要です。
 - － 修理を行ったなど、ペアリング情報が消去されたとき
 - － 10台以上の機器をペアリングしたとき
本機は9台までの機器をペアリングできます。10台目のペアリングを行うと、接続した日時が最も古い機器のペアリング情報が削除されます。
 - － 接続相手の機器から、本機との接続履歴が削除されたとき
 - － 本機を初期化したり、本機で接続履歴を削除したりしたとき
この場合は、すべてのペアリング情報が消去されます。
- 本機で再生する音楽をBLUETOOTHスピーカーに送信して聞くことはできません。
- パスコードは、パスキー、PINコード、PINナンバー、パスワードなどと呼ばれる場合があります。

BLUETOOTH機器のアドレスを確認するには

表示窓にBLUETOOTH機器で設定された機器名が表示されているときに、DISPLAYボタンを押すと、BLUETOOTH機器のアドレスが、約8秒間表示されます。

BLUETOOTH接続を切断するには

BLUETOOTH機器側から接続を切断してください。表示窓に「BLUETOOTH」が表示されます。お使いの機器によっては、音楽の再生終了と同時に、自動的に切断する場合があります。

ペアリング情報を削除するには

1 「BLUETOOTH機器をペアリングして音楽を聞く」(21ページ)の手順3の後で「Delete Link」を選び、ENTERボタンを押す。

2 ↑/↓で「Ok」を選び、ENTERボタンを押す。

表示窓に「Complete!」が表示され、すべてのペアリング情報が削除されます。

ご注意

ペアリング情報を削除した場合、再びペアリングを行わないとBLUETOOTH接続はできません。

登録済みの機器の音楽を聞く

「BLUETOOTH機器をペアリングして音楽を聞く」(21ページ)の手順1の後で、BLUETOOTH機器を操作して本機と接続し、BLUETOOTH機器の音量を調整し再生してください。

ちょっと一言

BLUETOOTH機器の音楽再生を停止してから、本機とBLUETOOTH機器を接続してください。

ワンタッチで接続して音楽を聞く(NFC)

NFCとは、携帯電話やICタグなど、さまざまな機器間で近距離無線通信を行うための技術です。NFC対応スマートフォン／タブレットを本機にタッチするだけで、自動的に本機の電源が入り、機器登録(ペアリング)、BLUETOOTH接続が行われます。あらかじめ、スマートフォン／タブレットのNFC機能をオンにしてください。

1 スマートフォン／タブレットを本機のNマークにタッチする。

スマートフォン／タブレットが反応するまでタッチし続けてください。

スマートフォン／タブレット側のタッチ位置については、お使いのスマートフォン／タブレットの取扱説明書をご覧ください。

2 接続が完了したら、スマートフォン／タブレットで音楽を再生する。

接続を切断するには、スマートフォン／タブレットで本機のNマークにもう一度タッチします。

ちょっと一言

- NFC機能がFeliCa機能を搭載したスマートフォン／タブレット(対応OS:Android™ 4.1以降)が対応しています。詳しくは、下記をご覧ください。
<https://www.sony.jp/support/netjoke/>
- NFCタッチ時は、BLUETOOTH機器の音楽再生を停止しておいてください。再生したまま操作すると、接続完了後、本機から大音量で出力される場合があります。
- 本機とのBLUETOOTH接続時に、他のNFC対応スマートフォン／タブレットを本機にタッチすると、タッチしたスマートフォン／タブレットとの接続に切り換わります。

高音質コーデック(AAC/LDAC)で再生する

BLUETOOTH機器から、AACやLDACのコーデックで受信します。通常よりも高音質で再生できます。

お買い上げ時は、「Bluetooth Codec」は「Auto」に設定されています。

- 1 MENUボタンを押す。
- 2 ↑/↓で「Bluetooth Menu」を選び、ENTERボタンを押す。
- 3 ↑/↓で「Bluetooth Codec」を選び、ENTERボタンを押す。
- 4 ↑/↓で「Auto」または「SBC」を選び、ENTERボタンを押す。

「Auto」: LDAC、AAC、またはSBCコーデックで受信するときに選びます。

「SBC」: SBCコーデックで受信するときに選びます。

ご注意

- BLUETOOTH接続中に設定すると、BLUETOOTH接続が解除されます。
- 受信中に音が途切れるなどした場合は、手順4で「SBC」を選んでください。

LDACは、ソニーが開発したハイレゾ音源をBLUETOOTH経由でも伝送可能とする音声圧縮技術です。
SBC等の既存BLUETOOTH向け圧縮技術とは異なり、ハイレゾ音源を低い周波数・低いビット数へダウンコンバートすることなく処理します*1。また極めて効率的な符号化やパケット配分の最適化を施すことで、従来技術比約3倍*2のデータ量の送信を可能とし、これまでにない高音質のBLUETOOTH無線伝送を実現しています。

*1 DSDフォーマットは除く。

*2 990kbps (96/48kHz) または 909kbps (88.2/44.1kHz) のビットレートを選択した場合のSBC (SubbandCoding) との比較。

無線LANに接続してワイヤレスで聞く

ネットワークへの接続方法を選ぶ

本機をネットワークに接続すると、本機の楽しみかたがさらに広がります。

接続方法は、お使いのネットワーク環境によって異なります。以下の接続方法の中から、使用環境に合った方法を選んで接続してください。

ちょっと一言

固定IPアドレスを設定する場合は、「パソコンから接続する」(24ページ)の手順6の画面で行ってください。

ご注意

- 無線LANと有線LANを同時に接続することはできません。無線ネットワーク接続するときは、本機から必ずネットワーク(LAN)ケーブルを取りはずしてください。
- 機能によっては、本体のアップデートが必要な場合があります。

スマートフォン/iPhoneから接続するには

スマートフォン/iPhoneに専用アプリ「SongPal」をダウンロードして使います。詳しくは、別冊の「無線LANスタートガイド」をご覧ください。

WPSボタン(AOSS、らくらく無線スタート)のある無線LANルーターを使用して接続するには

WPSボタンを使って接続します。詳しくは、別冊の「無線LANスタートガイド」をご覧ください。

パソコンから接続するには

「パソコンから接続する」(24ページ)をご覧ください。

有線LANで接続するには

- 詳しくはヘルプガイドをご覧ください

<http://rd1.sony.net/help/speaker/cmt-sx7/ja/>



パソコンから接続する

お使いの無線LANルーターにWPS(AOSS、らくらく無線スタート)ボタンがない場合の、本機とパソコンをネットワーク(LAN)ケーブルでつないで設定する方法です。

あらかじめ、市販のネットワーク(LAN)ケーブルをご用意ください。

ちょっと一言

無線LANを設定するには、SSID(無線ネットワーク名)と暗号化キー(WEPまたはWPA)が必要です。暗号化キー(またはネットワークキー)とは、相互に通信できる機器を限定するための暗号鍵です。無線LANルーターやアクセスポイントを介した機器間の通信を、より安全に行うために使われます。

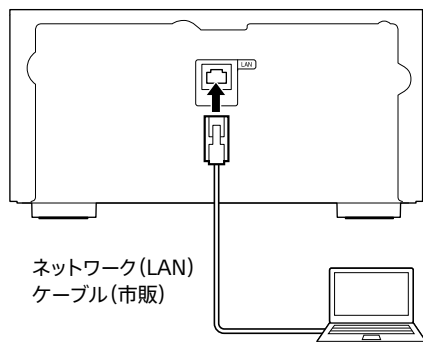
1 無線LANルーターのSSIDとパスワード(暗号化キー)を以下に書き写す。

詳しくはお使いの無線LANルーターの取扱説明書をご覧ください。

SSID:

パスワード:

2 本機とパソコンを直接、市販のネットワーク(LAN)ケーブルで接続する。



3 I/Oを押して、本機の電源を入れる。

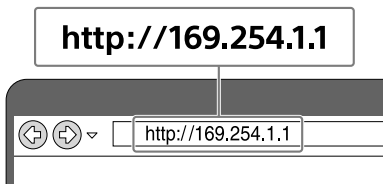
表示窓に  が点滅するまで、約2分間(場合によっては4、5分程度)お待ちください。

4 [Sony Network Device Settings] 画面にアクセスする。

パソコンの場合

ブラウザを起動し、アドレス検索バーに下記 URL を入力する。

http://169.254.1.1

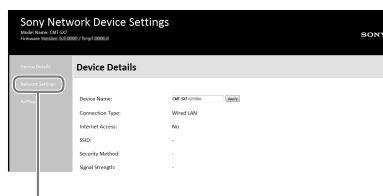


上記はパソコンと本機をネットワーク (LAN) ケーブルで接続した場合の URL です。

Mac の場合

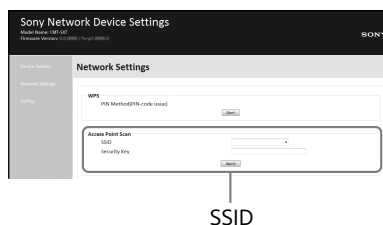
Safari を起動し、 ([ブックマーク]) から [Bonjour] を選ぶ。さらに [CMT-SX7] を選ぶ。

5 メニューから [Network Settings] を選ぶ。



Network Settings

6 無線 LAN ルーターの SSID を選び、パスワード (暗号化キー) を入力する。



手順1を確認して入力してください。

7 [Apply] を選ぶ。

8 パソコンの画面に従ってネットワーク (LAN) ケーブルを抜く。

ネットワーク (LAN) ケーブルを抜くと表示窓から  が消えます。無線 LAN 接続が完了すると、表示窓に  が点灯します。

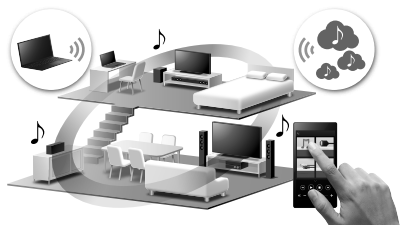
点灯するまでに2分以上かかる場合があります。

本機で音楽を聞く方法については、別冊の「無線 LAN スタートガイド」をご覧ください。

ご注意

この操作を10分以内に完了させてください。もし10分以内に終わらなかった場合は、本機をリセットしてください (49 ページ)。

複数のスピーカーで同じ音楽を聞く(SongPal Link機能)



ご家庭のWi-Fiネットワークを利用して、ネットワークサービスの音楽や、パソコンやスマートフォンに保存した音楽をさまざまな部屋で高音質で楽しめます。

- 1 お手持ちのスマートフォン/iPhoneに無料アプリSongPalをダウンロードする。
- 2 本機とスマートフォン/iPhoneを同じSSID(ネットワーク)の無線LANルーターに接続する。
- 3 複数機器を接続する場合は、SongPal Link対応機器を無線LANに接続する。

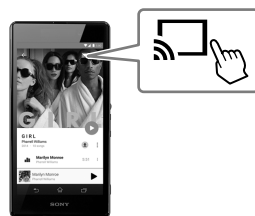
▶ 詳しい操作はヘルプガイドをご覧ください
<http://rd1.sony.net/help/speaker/cmt-sx7/ja/>



ミュージックサービスに接続して音楽を聞く

本機をインターネットに接続すると、インターネットラジオなどのミュージックサービスを楽しめます。Google Castに対応したミュージックサービス対応アプリを、別途ダウンロードする必要があります。

- 1 お手持ちのスマートフォン/iPhoneに無料アプリSongPalをダウンロードする。
- 2 本機とスマートフォン/iPhoneを同じSSID(ネットワーク)の無線LANルーターに接続する。
- 3 SongPalを起動し、Google Cast対応アプリをダウンロードする。
 - ① SongPalを起動して[CMT-SX7]をタッチし、[設定]→[Google Cast]→[キャスト方法]の順にタッチする。
 - ② 使用方法とGoogle Cast対応アプリを確認し、アプリをダウンロードする。
- 4 Google Cast対応アプリを起動し、キャストアイコンをタッチして、[CMT-SX7]を選ぶ。



- 5 Google Cast対応アプリで音楽を選び再生する。
本機で音楽が再生されます。

▶ 詳しい操作はヘルプガイドをご覧ください
<http://rd1.sony.net/help/speaker/cmt-sx7/ja/>



ウォークマン®や“ポケットビット”に録音する

CDやラジオ、つないだ機器からウォークマン®や“ポケットビット”に録音する

本機の操作のみでUSB機器（ウォークマン®や“ポケットビット”（USBメモリー））に録音できません。

ちょっと一言

最新の対応機種については、下記ホームページの機種別サポートをご覧ください。

<https://www.sony.jp/support/netjuke/>

ご注意

- ウォークマン®に録音する場合は、あらかじめ、ウォークマン®のHOLD機能を解除してください。詳しくは、ウォークマン®の取扱説明書をご覧ください。
- 本機にウォークマン®を接続するときは、「データベース作成中」の表示がウォークマン®の表示窓から消えていることを確認してください。
- 録音中や削除中に、本機からUSB機器をはずさないでください。USB機器のデータが破損したり、USB機器が故障するおそれがあります。
- 次のケースでは、録音ができません。
 - 最大フォルダ数:1000を超えた場合（ROOTフォルダ／ブライインストールされているフォルダを含む）
 - 最大ファイル数:3000を超えた場合
 - 1つのフォルダ内で認識可能な最大ファイル数:250を超えた場合これらファイル数、フォルダ数の上限は、USB機器の階層構造の状態によって異なります。そのため、不要なフォルダやファイルはUSB機器に保存しないでください。
- OPTICAL IN（オプティカル入力）からの録音は、対応していません。
- exFATフォーマットの機器には録音出来ません。

CDの曲を録音する

以下は、CD1枚をそのまま録音するときの手順です（Rec Allモード）。1曲だけ録音したり（Rec1モード）、曲を並べ換えて録音したり（Rec PGMモード）する場合は、手順6をご覧のうえ、操作を変更してください。

- 1 本機前面のΨ（USB FRONT）端子にUSB機器を接続する。

ウォークマン®をつなぐときは、ウォークマン®に付属のUSBケーブルをお使いください。

- 2 FUNCTIONボタンを押して、「CD」を選ぶ。

- 3 ディスクを本機にセットする。

自動的に再生が始まった場合は、■ボタンを押して再生を停止し、手順4に進んでください。

- 4 MENUボタンを押す。

- 5 ↑/↓で「Rec Menu」を選び、ENTERボタンを押す。

- 6 ↑/↓で「Rec」を選び、ENTERボタンを押す。

「Rec All」が点滅します。

しばらくすると「Rec >>> USB」が表示され再生を開始し、録音が始まります（Rec Allモード）。

Rec 1モード:1曲だけ録音したいときは、手順4の前に録音したい曲を再生してください。

Rec PGMモード:曲を並べ替えてプログラム録音したいときは、手順4の前にプログラムを行ってください。詳しくは、「好きな順に曲を聞く（プログラム再生）」（15ページ）をご覧ください。

録音を途中で止めるには

■ボタンを押してください。

MP3ディスクの特定のフォルダのみを録音するには

手順4の前に、MENUボタンを押して、「CD Menu」、「Playmode」、「Folder」の順に選びます。↑/↓ボタンでフォルダを選び、手順4に進んでください。

ちょっと一言

- 録音した曲の保存先については、「録音した曲の保存先について」(29ページ)をご覧ください。
- 録音した曲はMP3形式で保存されます。CD-DAディスクから録音する場合は、ビットレートを選べます。MP3から録音する場合は、音源と同じビットレートになります。詳しくは、「ビットレートを変更する」(29ページ)をご覧ください。
- CD-DAディスクから録音するのに必要なUSB機器の空き容量(1分あたりの目安)は下記となります。
 - ビットレートが128 kbpsの場合: 約1 MB
 - ビットレートが256 kbpsの場合: 約2 MBMP3ディスクから録音する場合には、より多くの空き容量が必要となることがあります。詳しくは、お使いのUSB機器の取扱説明書をご覧ください。

ご注意

- CD-DAディスクから録音した場合、タイトルは付きません。ファイル名に通し番号が付きます。詳しくは「フォルダ名とファイル名について」(30ページ)をご覧ください。
- 録音中は、高速録音モードとなり音は再生されません。
- 録音・削除中にAirPlay対応機器からの接続が行われたり、ネットワークの接続状態に変更があったりした場合は、録音や削除は停止します。CD-DAディスクから録音していた場合は、曲の途中まで録音された不完全なファイルが生成され、MP3ディスクから録音をしていた場合は、ファイルは生成されません。

ラジオやつないだ機器の曲を録音する

1 本機前面のΨ(USB FRONT)端子にUSB機器を接続する。

ウォークマン®をつなぐときは、ウォークマン®に付属のUSBケーブルをお使いください。

2 FUNCTIONボタンを押して、音源を準備する。

FM/AMラジオ: 「TUNER FM」または「TUNER AM」を選び、ラジオ局を受信します。

外部機器: 「LINE IN」を選び、外部出力のある機器を本機のLINE IN端子につないで、再生の準備をします。

3 MENUボタンを押す。

4 ↑/↓で「Rec Menu」を選び、ENTERボタンを押す。

5 ↑/↓で「Rec」を選び、ENTERボタンを押す。

表示窓に「Rec」が表示され、本機が録音待機状態になります。

しばらくすると、「Push ENTER」が表示されます。

6 ENTERボタンを押す。

表示窓に「Rec >>> USB」が表示され、録音が始まります。

外部機器を録音する場合は、録音と同時に再生を開始してください。

録音を途中で止めるには

■ボタンを押してください。

ちょっと一言

約60分ごとに自動的にトラックマークが付加され、トラックが分割されます。また、ENTERボタンを押すと、トラックマークを手動で付けることができます。

ご注意

- USB機器に保存されている曲やファイル数が多い場合、手順5の後に「Push ENTER」が表示されるまで、時間がかかる場合があります。ラジオなどを録音する場合は、余裕をもって準備して、「Push ENTER」を表示させておいてください。
- レコードプレーヤーを外部機器として接続することはできません。

ビットレートを変更する

CD-DAディスクや、ラジオ、つないだ機器から録音する場合は、ビットレートを変更できます(お買い上げ時は128 kbpsに設定されています)。ビットレートを256 kbpsに変更すると、音質が向上し、ファイルサイズは大きくなります。

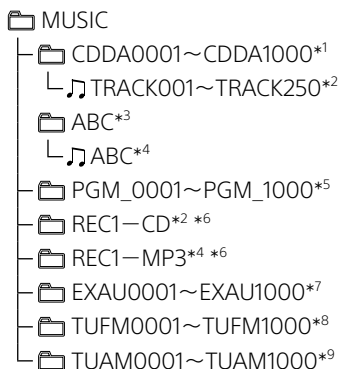
ご注意

ビットレートの変更は、録音を開始する前に行ってください。

- 1 FUNCTIONボタンを押して、「CD」、「TUNER FM」、「TUNER AM」、または「LINE IN」を選ぶ。
- 2 MENUボタンを押す。
- 3 **↑/↓**で「Rec Menu」を選び、ENTERボタンを押す。
- 4 **↑/↓**で「Bit Rate」を選び、ENTERボタンを押す。
- 5 **↑/↓**で「128kbps」または「256kbps」を選び、ENTERボタンを押す。

録音した曲の保存先について

本機で録音した曲は、USB機器(ウォークマン®や“ポケットビット”)の「MUSIC(ミュージック)」フォルダの中に保存されます。音源の種類や録音モードによって以下のように保存されます。



*1 CD-DAディスクから録音したアルバム

*2 CD-DAディスクから録音した曲

*3 MP3ディスクから録音したフォルダ
(音源と同じフォルダ名を表示)

*4 MP3ディスクから録音したファイル
(音源と同じファイル名を表示)

*5 Rec PGMモードで録音した曲をプログラムごとにフォルダを生成

*6 Rec1モードで録音した曲を保存

*7 外部入力から録音した曲を保存

*8 FMラジオから録音した曲を保存

*9 AMラジオから録音した曲を保存

ちょっと一言

CD-DAディスクから録音した場合など、アルバム情報やアーティスト情報がない録音データは、ウォークマン®の「アルバム」や「アーティスト」などでは「不明」に分類されます。

フォルダ名とファイル名について

USB機器（ウォークマン®や“ポケットビート”）へ録音すると、USB機器内の「MUSIC（ミュージック）」フォルダには以下の命名ルールに従ってフォルダとMP3ファイルが生成されます。

Rec Allモード時

音源	フォルダ名	ファイル名
MP3	音源と同じ*1	
CD-DA	CDDA0001*2	TRACK001*3

Rec1モード時

音源	フォルダ名	ファイル名
MP3	REC1-MP3*4	音源と同じ*1
CD-DA	REC1-CD*4	TRACK001*3

Rec PGMモード時

音源	フォルダ名	ファイル名
MP3	PGM_0001*2	音源と同じ*1
CD-DA		TRACK001*3

FM/AMラジオ、外部入力からの録音

録音ソース	フォルダ名	ファイル名
FM	TUFM0001*2	TRACK001*3
AM	TUAM0001*2	
外部入力	EXAU0001*2	

*1 ファイル名、フォルダ名は最大60文字まで表示されます。

*2 フォルダ番号が連番で割り振られます（最大1000（「ROOT」フォルダおよび「MUSIC」フォルダ含む））。

*3 ファイル番号が連番で割り振られます。

*4 最初にRec1モードで録音を実行したときにCD-DAディスクは「REC1-CD」、MP3ディスクは「REC1-MP3」フォルダが生成されます。以後、Rec1モードで録音を行うと、ディスクの種類に合わせて常に「REC1-CD」、「REC1-MP3」フォルダ内に録音した曲が保存されます。

ご注意

- パソコンを使って、曲名やファイル名などの文字編集をすることができます。
- USB機器がデータベースの更新中のときは、更新が終わるまで本機に接続しないでください。
- 認識できるフォルダの数は、ROOT、MUSIC、空フォルダなどデバイス内のすべてのフォルダを含めて、1000までです。
- Rec Allモードでの録音時は、シャッフル再生またはリビート再生モードは自動的に解除され、ノーマル再生モードとなります。
- CDファンクションからの録音中は、高速録音モードとなり、音は聞けません。

- CD-TEXT情報を持つCD-DAトラックが音源の場合、録音後のMP3ファイルにCD-TEXT情報は含まれません。
- CD-DAディスクからの録音を途中で止めると、曲の途中で録音された不完全なファイルが生成されます。MP3ディスクからの録音を途中で止めた場合は、ファイルは生成されません。
- 次のような条件下では、録音は自動的に停止します。
 - ー 録音中にUSB機器の空き容量がなくなった。
 - ー USB機器に録音できるフォルダ数または曲数が本機の仕様の上限に達した。
- 録音時にUSB機器に同名のフォルダやファイルが存在するときは、生成時のフォルダまたはファイルの名前の最後に、連番が追加されます。このため、もともとあったフォルダやファイルが上書きされることはありません。

本機で録音した曲を削除する

本機でUSB機器（ウォークマン®や“ポケットビット”）に録音した曲やフォルダを、本機を使って削除できます。

1 本機前面の④(USB FRONT)端子にUSB機器を接続する。

ウォークマン®をつなぐときは、ウォークマン®に付属のUSBケーブルをお使いください。

2 FUNCTIONボタンを押して、「USB FRONT」を選ぶ。

3 MENUボタンを押す。

4 ↑/↓で「USB Menu」を選び、ENTERボタンを押す。

5 ↑/↓で「Erase」を選び、ENTERボタンを押す。

次のメッセージが順に表示されます。

Checking

USB機器内のデータ読み込み中



Select



Folder / Track

「フォルダ」または「トラック(曲)」を選択するメッセージ。選択するまで「Select」→「Folder/Track」が繰り返し表示されます。

本機で削除できる曲がない場合は、表示窓に「No Track」が表示されます。

6 ◀▶/▶▶または↑/↓を繰り返し押して、削除したい曲やフォルダを選ぶ。

表示窓に曲名またはフォルダ名が表示され、続いて「Erase?」が表示されます。

7 ▶▶を押して曲を再生し、削除対象の曲やフォルダが正しいか確認する。

フォルダを選んだ場合は1曲目が再生されません。

再生中には次のボタンが使用できます。

◀◀/▶▶(前/次)ボタン、◀◀/▶▶(早戻し/早送り)ボタン、▶▶(再生/一時停止)ボタン、■(停止)ボタン

選択を間違えたときは、■ボタンを押して再生を停止し、◀◀/▶▶ボタンや↑/↓ボタンで選び直してください。

8 ENTERボタンを押す。

表示窓に「Erase??」が表示されます。

選び直すときは、BACKボタンを押して、前の画面に戻ってください。

9 ENTERボタンを押す。

表示窓に「Erasing」が表示され、削除を開始します。完了すると「Complete!」が表示されます。削除を続けるときは、手順6から繰り返してください。

削除を終了するには

■ボタンを押して削除モードを解除します。再生中は、■ボタンを2回押してください。

ちょっと一言

- ■ボタンを押すと、削除の操作を取り消すことができます。手順9でENTERボタンを押した後は取り消せませんので、ご注意ください。
- 削除する曲やフォルダを選択した後でも、BACKボタンを押すと、未選択状態に戻すことができます。手順9でENTERボタンを押した後は戻せませんので、ご注意ください。
- 本機で録音した曲やフォルダのほかに、パソコンからUSB機器にドラッグアンドドロップで転送した曲も削除できます。次のオーディオ形式のファイルを削除できます。MP3(.mp3)、WMA(.wma)、AAC(.m4a、.3gp、.mp4)
- 本機で削除するときに認識できるファイルとフォルダの総数は、ファイル数3000、フォルダ数1000までです。1つのフォルダ内で認識できるファイル数は250までです。

USB機器に3000以上のファイル、1000以上のフォルダが保存されている場合、本機が認識できる数以上のファイル、フォルダは表示窓に表示されません。USB機器のファイルやフォルダを削除するとき、表示されないファイル、フォルダがある場合は、ファイル、フォルダ数が上限数を超えていないか確認してください。

- 本機で削除できない曲やフォルダは、パソコンを使用して削除してください。詳しくは、USB機器の取扱説明書をご覧ください。
- 本機で録音した曲の保存先やファイル名については、「録音した曲の保存先について」(29ページ)をご覧ください。

ご注意

- いったん削除した曲やフォルダは、元に戻すことができません。削除するときは、充分注意して行ってください。
- 表示窓に「Checking」が表示されているときは、USB機器の全データの読み込みを行っています。USB機器に多数のフォルダやオーディオファイルがあると、表示が消えるのに時間がかかる場合があります。

その他の設定

オートスタンバイ機能を設定する

無操作または無音の状態が約15分経過すると、本機は自動的にスタンバイモードに移行します(オートスタンバイ機能)。お買い上げ時はオンに設定されています。

- 1 MENUボタンを押す。
- 2 **↑/↓**で「Standby Mode Menu」を選び、ENTERボタンを押す。
- 3 **↑/↓**で「Auto Standby」を選び、ENTERボタンを押す。
- 4 **↑/↓**で「On」(入)、または、「Off」(切)を選び、ENTERボタンを押す。

ちょっと一言

本機がスタンバイモードに移行するときは、2分前に表示窓に「Auto Standby」が表示されます。

ご注意

- オートスタンバイ機能をオンに設定していても、以下の場合はスタンバイモードへ移行しません。
 - FM、AMファンクションを使っているとき
 - 再生／録音タイマーまたはスリープタイマー開始のための処理が始まったとき
- オートスタンバイ機能をオンに設定した状態で次の操作を行うと、オートスタンバイモードへ移行するまでの時間(約15分)をリセットして再カウントします。
 - USBファンクションでUSB機器を接続したとき
 - 本体またはリモコンの操作ボタンを押したとき
 - NFCタッチを行ったとき

BLUETOOTH／ネットワークスタンバイモードを設定する

本機の電源が入っていない状態でも、BLUETOOTH やネットワークの接続待ち状態にすることができます。お買い上げ時はオフに設定されています。

- 1 MENUボタンを押す。
- 2 **↑/↓**で「Standby Mode Menu」を選び、ENTERボタンを押す。
- 3 **↑/↓**で「BT/NW Standby」を選び、ENTERボタンを押す。
- 4 **↑/↓**で「On」(入)、または、「Off」(切)を選び、ENTERボタンを押す。
- 5 **I/⏻**を押して、本機の電源を切る。

ちょっと一言

- 本機能をオンに設定しておく、BLUETOOTH機器、AirPlay機器またはDLNA機器から本機に接続を行ったときやMusic Services接続したときに、自動的に本機の電源が入り、BLUETOOTH、AirPlay、DLNAまたはMusic Services接続で音楽を聞くことができます。
- 本機をネットワークに接続すると、自動的に本機能がオンに切り換わる場合があります。

無線信号オン／オフを設定する

本機の電源が入っているときに、無線ネットワークやBLUETOOTH信号を制御することができます。

お買い上げ時は、オンに設定されています。

- 1 本機の電源を入れる。
- 2 表示窓にアンテナアイコンが点滅したら、本体のBACKボタンと▲ボタンを押し続ける。
- 3 「RF Off」(無線信号オフ)または「RF On」(無線信号オン)が表示されたら指を離す。

ちょっと一言

- 本機能をオフに設定すると、無線ネットワーク機能やBLUETOOTH機能は使用できません。
- 本機能がオフのときに、NFC機能でスマートフォン／タブレットを本機にタッチすると、本機能はオンになります。
- 本機能がオフのときは、BLUETOOTH／ネットワークスタンバイモードをオンにすることはできません。
- BLUETOOTH／ネットワークスタンバイモードがオンのときに、本機能をオフにすると、BLUETOOTH／ネットワークスタンバイモードはオフになります。
- 本機能がオフのときは、本機とBLUETOOTH機器をペアリングすることはできません。
- 本機能がオフのときでも、有線ネットワークには接続できます。

音質を調整する

お好みに合わせて音質を調整します。

「DSEE HX」を選ぶと、MP3などの圧縮音源を高音質にアップグレードできます。

- 1 MENUボタンを押す。
- 2 ↑/↓で「Sound Menu」を選び、ENTERボタンを押す。
- 3 ↑/↓で「BASS」、「TREBLE」、または、「DSEE HX」を選び、ENTERボタンを押す。
BASS:低音域を調整します。
TREBLE:高音域を調整します。
DSEE HX:CDや圧縮音源の高音域を補完し、サンプリング周波数とビット数を本来の数値より高めることで、より高音質にアップグレードします。「Auto」を選んで設定します。(お買い上げ時は、「Auto」に設定されています。)

Clear Audio+機能を使う

CLEARAUDIO+ボタンを押すと、Clear Audio+機能がオンになり、ソニーおすすめの音質に設定します。

時計を合わせる

1 I/⏻(電源) ボタンを押して、本機の電源を入れる。

2 MENU(メニュー) ボタンを押す。

3 ↑/↓で「Timer Menu」を選び、ENTER(決定) ボタンを押す。

「Play Setting」が表示されるときは、↑/↓で「Clock Setting」を選び、ENTERボタンを押してください。

4 ↑/↓で「時」を合わせ、ENTERボタンを押す。

5 ↑/↓で「分」を合わせ、ENTERボタンを押す。

時計の設定が完了します。

ご注意

停電や電源プラグが抜けて電源供給がなくなると、時計設定は解除されます。

電源が「切」のときに時計を確認するには

DISPLAYボタンを押して、時計を表示させます。時計は約8秒間表示されます。

ただし、BLUETOOTH/ネットワークスタンバイモードがオンのときは、DISPLAYボタンを押しても時計は表示されません。

タイマーを使う

スリープタイマー、再生タイマー、録音タイマーの3種類のタイマーを設定できます。

ご注意

再生タイマーや録音タイマーが動いているときにスリープタイマーを使うと、スリープタイマーが優先されます。

スリープタイマーを設定する

指定した時間が経過すると、自動的に本機の電源が切れます。

1 MENUボタンを押す。

2 ↑/↓で「Sleep Menu」を選び、ENTERボタンを押す。

3 ↑/↓でスリープさせる時間を選び、ENTERボタンを押す。

「10minutes」(10分)から「90minutes」(90分)まで、10分刻みで選べます。

ちょっと一言

- スリープタイマー実行中に残り時間を確認するには、上記の手順1~2を行ってください。
- スリープタイマーは、本機の時計を合わせていない状態でも使用できます。

スリープタイマーを解除するには

上記の「スリープタイマーを設定する」の手順3で「Off」を選びます。

再生タイマー／録音タイマーを設定する

ご注意

タイマーを設定する前に、本機の時計を合わせてください(35ページ)。

再生タイマー

毎日、指定した時間に、CDやUSB機器を自動的に再生したり、ラジオを聞いたりできます。手動で中止しない限り、タイマー設定は解除されません。

録音タイマー

指定した時間から、自動的にラジオを録音できます。録音を行うと、設定は解除されます。

- 1 音源を準備する。
- 2 MENUボタンを押す。
- 3 **↑/↓**で「Timer Menu」を選び、ENTERボタンを押す。
- 4 **↑/↓**で「Play Setting」(再生タイマー)、または、「Rec Setting」(録音タイマー)を選び、ENTERボタンを押す。
開始時間の「時間」が点滅します。
- 5 **↑/↓**で時間を選び、ENTERボタンを押す。
同様に、開始時間の「分」、終了時間の「時間」「分」を設定します。
- 6 **↑/↓**で音源を選び、ENTERボタンを押す。
設定確認が表示されます。
- 7 **I/⏻**を押して、本機の電源を切る。

ちょっと一言

- CDを再生する場合は、プログラム再生とあわせて再生タイマーを設定できます。あらかじめ、「好きな順に曲を聞く(プログラム再生)」(15ページ)に従って、プログラムしてください。
- ラジオを音源にする場合は、あらかじめ選局してください(16ページ)。
- タイマーの設定を変更するには、手順をはじめからやり直してください。

ご注意

- 開始時間に電源が入っているとタイマーは作動しません。タイマーが開始する約5分前までに本機の電源を切り、本機を操作しないでください。
- プリセット選局以外の方法でラジオ局を受信して(オートチューニング/マニュアルチューニング)、タイマーを設定した場合は、タイマー設定後にラジオ局の周波数やバンド(FM/AM)を変更すると、タイマー起動時の周波数やバンドも変更されます。
- プリセット選局でラジオ局を受信して、タイマーを設定した場合は、タイマー設定後にラジオ局の周波数やバンド(FM/AM)を変更しても、タイマーには反映されません。タイマー設定時の放送局に固定されます。

タイマーの設定を確認するには

- 1 MENUボタンを押す。
- 2 **↑/↓**で「Timer Menu」を選び、ENTERボタンを押す。
- 3 **↑/↓**で「Timer Select」を選び、ENTERボタンを押す。
- 4 **↑/↓**で「Play Setting」(再生タイマー)または「Rec Setting」(録音タイマー)を選び、ENTERボタンを押す。
タイマーの設定が表示されます。

タイマーを中止するには

「タイマーの設定を確認するには」(36ページ)の手順3の後に、「Timer Off」(切)を選び、ENTERボタンを押します。

ソフトウェアをアップデートする

本機のソフトウェアをアップデート(更新)するには、以下の3つの方法があります。

方法1: ネットワーク経由で、自動でアップデートする (37ページ)

本機がインターネットに接続されていれば、最新のソフトウェアを検知して、自動でアップデートを実施します。スマートフォン/iPhoneにインストールしたSongPal (13ページ) を使って設定します。

方法2: ネットワーク経由で、手動でアップデートする (38ページ)

本機がインターネットに接続されていれば、最新のソフトウェアを検知して、表示窓に「UPDATE」を表示してお知らせします。お買上げ時はこの設定です。

方法3: USBメモリーをつないで、手動でアップデートする (38ページ)

本機がインターネットに接続されていない場合などに、パソコンなどを使ってアップデートファイルをダウンロードし、本機にインストールする方法です。

ご注意

- アップデートは、通常約3分から10分程度かかります。ネットワーク環境によっては、さらに時間がかかる場合があります。
- アップデート中は、本体またはリモコンを操作しないでください。また、本体を電源とネットワークに接続したままにしてください。
- ネットワークを使用したアップデートの場合、「Download」の表示中に、Menuボタン→「Download Cancel」→「Ok」で、ダウンロードを中止できます(ただし、アップデートの進捗状態によって、中止できない場合もあります)。中止すると、「Cancel !」、「Push POWER」が交互に表示されます。中止した場合でも、次に電源を入れたときに再び最新のソフトウェアを検知すると、「UPDATE」が表示されます。

方法1: ネットワーク経由で、自動でアップデートする

1 SongPalの[設定]メニューで[タイムゾーン]を設定する。

[自動アップデート]機能が有効になります。

アップデートは、深夜や本機がスタンバイモードのときなど、お客様が本機をお使いにならない時間帯に実施します。アップデート中はスタンバイランプが点灯し、完了すると表示窓に「Complete」が表示されます。

ちょっと一言

- 自動でアップデートさせたくない場合は、SongPalの[設定]で[自動アップデート]を無効に設定してください。ただし、本機能を無効にしても、安定してご使用いただくためなどにより、ソフトウェアを自動でアップデートすることがあります。
- 有線LANもしくは無線LANでネットワークに接続してご使用になっているとき、本機をネットワークに接続中に最新のソフトウェアを検知すると、表示窓に「UPDATE」が表示されます。
- [自動アップデート]の設定が有効・無効にかかわらず、本機が最新のソフトウェアを検知した時点で、表示窓に「UPDATE」が表示されます。
- 自動アップデートを有効にしている場合でも、すぐに実施したいときは手動でアップデートできます。「方法2: ネットワーク経由で、手動でアップデートする」(38ページ)をご覧ください。

「Cannot Download」、「Push POWER」が交互に表示されたときは

本機が自動で実施していたソフトウェアのアップデートに失敗しました。「ネットワーク経由のアップデートに失敗したときは」(39ページ)に進んでください。

方法2: ネットワーク経由で、手動でアップデートする

表示窓に「UPDATE」が表示されたときは、以下の手順に従って、アップデートを実施してください。



- 1 MENUボタンを押す。
- 2 ↑/↓で「Update Menu」を選び、ENTERボタンを押す。
- 3 ↑/↓で「via Network」を選び、ENTERボタンを押す。
- 4 ↑/↓で「Ok」を選び、ENTERボタンを押す。
「Download」、「Update」と表示が切り換わり、スタンバイランプ(橙色)が点灯して自動でアップデートが始まります。アップデート中は本体やリモコンを操作しないでください。
- 5 「Complete」と表示されたら、I/⏻を押して電源を切り、もう一度押して、電源を入れる。

「Cannot Download」、「Push POWER」が交互に表示されたときは

ソフトウェアのアップデートに失敗しました。「ネットワーク経由のアップデートに失敗したときは」(39ページ)に進んでください。

方法3: USBメモリーをつないで、手動でアップデートする

- 1 以下からアップデートファイルをダウンロードして、お使いのUSBメモリーに格納する。
<https://www.sony.jp/support/netjoke/>
- 2 本機の電源が切れている場合は電源を入れる。
- 3 FUNCTIONボタンを押して、「USB FRONT」を選ぶ。
- 4 手順1で準備したUSBメモリーを本機前面の⚡(USB FRONT)端子につなぐ。
- 5 表示窓に「ROOT」が表示されたら、MENUボタンを押す。
- 6 ↑/↓で「Update Menu」を選び、ENTERボタンを押す。
- 7 ↑/↓で「via USB」を選び、ENTERボタンを押す。
- 8 ↑/↓で「Ok」を選び、ENTERボタンを押す。
「Download」、「Update」と表示が切り換わり、スタンバイランプ(橙色)が点灯して自動でアップデートが始まります。アップデート中は本体やリモコンを操作しないでください。
- 9 「Complete」と表示されたら、I/⏻を押して電源を切り、もう一度押して、電源を入れる。

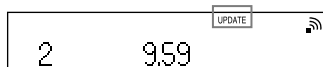
ネットワーク経由のアップデートに失敗したときは

ネットワークの接続環境が悪い場合など、途中でソフトウェアのアップデートに失敗する場合があります。

「Cannot Download」、「Push POWER」が交互に表示されている場合は、アップデートに失敗しています。この状態になると、本機はI/O（電源）ボタン操作以外のすべての操作（すべての機能）を使用できなくなります。

以下の操作で本機の状態を確認し、次の手順に進んでください。

- 1 I/Oを押して電源を切り、もう一度押して、電源を入れる。
- 2 3分ほど（またはネットワーク接続が完了するまで）待って、表示窓を確認する。
「UPDATE」と表示された場合



アップデートは完了していませんが、通常に本機を使用できる状態です。以下の手順でアップデートを完了してください。

- ① 本機の電源を切る。
- ② 「方法3: USBメモリーをつないで、手動でアップデートする」(38ページ)を行う。

「Update Retry」と表示された場合



アップデートに失敗していて、このままでは本機が使用できない状態です。以下の手順で、USBメモリーを使ったアップデートを完了してください。

- ① 以下からアップデートファイルをダウンロードして、お使いのUSBメモリーに格納する。
<https://www.sony.jp/support/netjuku/>

- ② 表示窓に「Update Retry」が表示されている状態で、USBメモリーを本機前面のψ(USB FRONT)端子につなぐ。
「Download」、「Update」と表示が切り換わり、スタンバイランプ(橙色)が点灯して自動でアップデートが始まります。アップデート中は本体やリモコンを操作しないでください。
- ③ 「Complete」と表示されたら、I/Oを押して電源を切り、もう一度押して、電源を入れる。

使用上のご注意・ 主な仕様

使用上のご注意

温度上昇について

本機を長時間お使いになると、本体の温度が上昇することがありますが、故障ではありません。

再生できるディスク

- 音楽用CD-DAディスク
- CD-R/CD-RW (CD-DAトラックまたはMP3ファイルの音楽データ)

データのないCD-R/CD-RWディスクを使用しないでください。ディスクにダメージを与えるおそれがあります。

再生できないディスク

- CD-ROM
- 音楽CDの規格に準拠していない形式で記録されたCD-RおよびCD-RWディスク、ISO9660 Level 1/Level 2またはJolietのフォーマットに準拠しないCD-RおよびCD-RWディスク
- マルチセッション方式で記録して、セッションクローズ処理をしていないCD-RおよびCD-RWディスク
- 記録品質の悪いCD-RおよびCD-RWディスク、傷、汚れのあるCD-RおよびCD-RWディスク、互換性のないレコーダーで記録したCD-RおよびCD-RWディスク
- 書き込み用ソフトウェアやレコーダーによる「ファイナライズ処理」が正常に終了していないCD-RおよびCD-RWディスク
- MP3形式(MPEG 1 Audio Layer-3)以外のフォーマットのオーディオファイルが記録されたCD-RおよびCD-RWディスク
- 円形以外の特殊な形状(カード型、ハート型、星型など)をしたディスク
- 紙やシールの貼られたディスク
- 中古ディスクやレンタルディスクで、セロハンテープやレンタルディスクのラベルなどの接着剤がはみ出したり、はがしたあとのあるディスク
- 盤面印刷で作成したラベルのインクが乾いていないディスク

CD-DAディスクの取り扱い方

- ふだんのお手入れは、柔らかい布でディスクの中心から外の方へ軽く拭きます。汚れがひどいときは、少し湿らせた布で拭いたあと、乾いた布で

水気を拭き取ってください。ベンジンやレコードクリーナー、静電気防止剤などは使わないでください。

- 直射日光が当たる場所、車やトランクの中など、高温になるところには置かないでください。
- 市販のCDレンズ用クリーニングディスクは、本機では使わないでください。故障するおそれがあります。

設置時のご注意

- ぐらついた台の上や不安定な場所、振動する場所、ほこりの多い所、直射日光が当たる場所、照明器具の下、湿度が高い所、湿気の多い所、風通しの悪い場所、極端に寒い所などには、本機を設置しないでください。
- 特殊な塗装、ワックス、油脂、溶剤などが塗られている場所に、本機を設置すると、変色、染みなどが残ることがあります。
- 部屋の暖房を入れた直後など、内部のレンズに水滴がつくことがあります(結露)。正常に動作しないばかりでなく、ディスクや部品を傷めることがあるので、本機を使わないときは、ディスクを取り出してください。結露が生じたときは、ディスクを取り出して、電源を入れたまま約1時間放置し、再び電源を入れ直してください。もし何時間たっても正常に動作しないときは、ソニーの相談窓口にご相談ください。

使用時の放熱について

- 本機を充電中、または長時間お使いになると、本体の温度が上昇することがありますが、故障ではありません。
- 大音量で鳴らし続けると、本体キャビネットの天板や側面、底面が熱くなることがあります。このようなときは、火傷などのけがの原因となるため、キャビネットなどに触れないでください。

お手入れのしかた

キャビネットやパネル面の汚れは、中性洗剤溶液を少し含ませた柔らかい布などで拭いてください。シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面を傷めるので、使わないでください。

第三者が提供するサービスに関する免責事項

第三者が提供するサービスは予告なく、変更・停止・終了することがあります。ソニーは、そのような事態に対していかなる責任も負いません。

重要

機器の名称と電気定格は、背面に表示されています。MacアドレスとデバイスIDは、底面に表示されています。

対応機器とバージョン

ウォークマン®

最新の対応機種については、下記ホームページの機種別サポートをご覧ください。

<https://www.sony.jp/support/netjuke/>

ご注意

- 対応機種以外のウォークマン®は使用しないでください。対応機種以外の機種の動作は保証しておりません。
- ウォークマン®をフォーマットするときは、ウォークマン®本体の機能（メモリーの初期化機能）を使ってフォーマットしてください。他の方法でフォーマットした場合、本機からの録音が行えないなどの不具合が発生するおそれがあります。詳しくは、ウォークマン®の取扱説明書をご覧ください。
- 本機はウォークマン®の動作のすべてを保証するものではありません。
- お使いのウォークマン®の機種によっては、本機の操作に対する反応が遅れる場合があります。

iPhone/iPad/iPod対応モデル

最新の対応機種については、下記ホームページの機種別サポートをご覧ください。

<https://www.sony.jp/support/netjuke/>

対応モデル	AirPlay	BLUETOOTH	USB
iPhone 6	○	○	○
iPhone 6 Plus	○	○	○
iPhone 5s	○	○	○
iPhone 5c	○	○	○
iPhone 5	○	○	○
iPhone 4s	○	○	○
iPhone 4	○	○	○
iPhone 3GS	○	○	○
iPad Air 2*	○	○	○
iPad mini 3*	○	○	○
iPad Air*	○	○	○
iPad mini 2*	○	○	○
iPad mini*	○	○	○
iPad (第4世代)*	○	○	○
iPad (第3世代)*	○	○	○
iPad 2*	○	○	○
iPad*	○	○	○
iPod touch (第5世代)	○	○	○

対応モデル	AirPlay	BLUETOOTH	USB
iPod touch (第4世代)	○	○	○
iPod touch (第3世代)*	○	○	○
iPod classic*			○
iPod nano (第7世代)*		○	○
iPod nano (第6世代)*			○
iPod nano (第5世代)*			○
iPod nano (第4世代)*			○

2015年1月現在

* SongPalはiPod touch (第3世代)とiPod classic、iPod nanoには対応しておりません。
SongPalは、2015年1月現在、iPad画面に最適化された表示には対応していません。

AirPlayは、iOS 4.3.3以降を搭載したiPhone、iPad、およびiPod touch、またはOS X Mountain Lionを搭載したMac、およびiTunes 10.2.2以降を搭載したMac、パソコンに対応しています。
BLUETOOTH技術は、iPhone 5s、iPhone 5c、iPhone 5、iPhone 4s、iPhone 4、iPhone 3GS、iPod touch (第5世代)、iPod touch (第4世代)に対応しています。
USB機能は、iOS 4.3.3以降を搭載したiPhone、iPad、およびiPod touch、またはOS X Mountain Lionを搭載したMac、およびiTunes 10.2.2以降を搭載したMac、パソコンに対応しています。

DLNA機器

最新の対応機種については、下記ホームページの「接続情報・対応表」をご覧ください。

<https://www.sony.jp/support/netjuke/>

USB機器

最新の対応機種については、下記ホームページの「接続情報・対応表」をご覧ください。

<https://www.sony.jp/support/netjuke/>

BLUETOOTH機器

最新の対応機種については、下記ホームページの「接続情報・対応表」をご覧ください。

<https://www.sony.jp/support/netjuke/>

BLUETOOTH無線技術について

BLUETOOTH® 無線技術は、パソコンやデジタルカメラなどのデジタル機器同士で通信を行うための近距離無線技術です。およそ10 m程度までの距離で通信を行うことができます。必要に応じて2つの機器をつなげて使うのが一般的な使いかたですが、1つの機器に同時に複数の機器をつなげて使うこともあります。

無線技術によってUSBのように機器同士をケーブルでつなぐ必要はなく、また、赤外線技術のように機器同士を向かい合わせたりする必要もありません。例えば片方の機器をかばんやポケットに入れて使うこともできます。

BLUETOOTH標準規格は世界中の数千社の会社が賛同している世界標準規格であり、世界中のさまざまなメーカーの製品で採用されています。

BLUETOOTH機能の対応バージョンとプロファイル

プロファイルとは、BLUETOOTH機器の特性ごとに機能を標準化したものです。本機が対応しているBLUETOOTHのバージョンとプロファイルについて詳しくは、「主な仕様」(52ページ)をご覧ください。

ご注意

- BLUETOOTH機能を使うには、相手側BLUETOOTH機器が本機と同じプロファイルに対応している必要があります。ただし、同じプロファイルに対応していても、BLUETOOTH機器の仕様により機能が異なる場合があります。
- BLUETOOTH無線技術の特性により、送信側での音声・音楽再生に比べて、本機側での再生がわずかに遅れます。

通信有効範囲

見通し距離で約10 m以内で使用してください。以下の状況においては、通信有効範囲が短くなることがあります。

- － BLUETOOTH接続している機器の間に、人体や金属、壁などの障害物がある場合
- － 無線LANが構築されている場所
- － 電子レンジを使用中の周辺
- － その他の電磁波が発生している場所

他機器からの影響

BLUETOOTH機器と無線LAN (IEEE802.11b/g/n) は同一周波数帯 (2.4 GHz) を使用するため、無線LANを搭載した機器の近辺で使用すると、電波干渉が発生し、通信速度の低下、雑音や接続不能の原因になる場合があります。この場合、次の対策を行ってください。

- － 本機とBLUETOOTH機器を接続するときは、無線LANから10 m以上離れたところで行う。

- － 10 m以内で使用する場合は、無線LANの電源を切る。

他機器への影響

BLUETOOTH 機器が発生する電波は、電子医療機器などの動作に影響を与える可能性があります。場合によっては事故を発生させる原因になりますので、次の場所では本機およびBLUETOOTH機器の電源を切ってください。

- － 病院内／電車内／航空機内
- － 自動ドアや火災報知機の近く

ご注意

- 本機は、BLUETOOTH 無線技術を使用した通信時のセキュリティとして、BLUETOOTH標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、設定内容等によってセキュリティが充分でない場合があります。BLUETOOTH無線通信を行う際はご注意ください。
- BLUETOOTH 技術を使用した通信時に情報の漏洩が発生しなくても、弊社としては一切の責任を負い兼ねますので、あらかじめご了承ください。
- 本機と接続するBLUETOOTH機器は、BLUETOOTH SIGの定めるBLUETOOTH標準規格に適合し、認証を取得している必要があります。ただし、BLUETOOTH標準規格に適合していても、BLUETOOTH機器の特性や仕様によっては、接続できない、操作方法や表示・動作が異なるなどの現象が発生する場合があります。
- 本機と接続するBLUETOOTH機器や通信環境、周囲の状況によっては、雑音が入ったり、音が途切れたりすることがあります。

BLUETOOTH機器について

機器認定について

本機は、電波法に基づく小電力データ通信システムの無線設備として、認証を受けています。したがって、本機を使用するときに無線局の免許は必要ありません。ただし、以下の事項を行うと法律に罰せられることがあります。

- 本機を分解／改造すること

周波数について

本機は2.4 GHz帯の2.4000 GHzから2.4835 GHzまで使用できますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、次の事項に注意してご使用ください。

本機の使用上の注意事項

本機の使用周波数は2.4 GHz帯です。この周波数帯では電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ライン等で使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局等（以下「他の無線局」と略す）が運用されています。

1. 本機を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本機と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに本機の使用場所を変えるか、または機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。
3. 不明な点その他お困りのことが起きたときは、ソニーの相談窓口までお問い合わせください。ソニーの相談窓口については、本取扱説明書（裏表紙）をご覧ください。

2.4 FH1

この無線機器は2.4 GHz帯を使用します。変調方式としてFH-SS変調方式を採用し、与干渉距離は10 m以下です。

無線LAN機能について

本製品内蔵の無線LAN機能はWFA (Wi-Fi Alliance) で規定された「WPA/WPA2、WPS」について認証取得しています。

無線の周波数について

本製品は2.4 GHz帯を使用しています。他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に注意してご使用ください。

本製品の使用上の注意

本製品の使用周波数は2.4 GHz帯です。この周波数帯では電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ライン等で使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局等（以下「他の無線局」と略す）が運用されています。

- 1) 本製品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
- 2) 万一、本製品と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに本製品の使用場所を変えるか、または本製品の運用を停止（電波の発射を停止）してください。
- 3) 不明な点その他お困りのことが起きたときは、ソニーの相談窓口までお問い合わせください。

2.4DS/OF4

この無線製品は2.4 GHz帯を使用します。変調方式としてDS-SS変調方式およびOFDM変調方式を採用し、与干渉距離は40 m以下です。

5 GHz機器使用上の注意事項

- 本製品が使用するチャンネルは以下の通りです。
 - － W52 (5.2 GHz帯/36、40、44、48ch)
 - － W53 (5.3 GHz帯/52、56、60、64ch)
 - － W56 (5.6 GHz帯/100、104、108、112、116、120、124、128、132、136、140ch)

IEEE802.11b/g/n

IEEE802.11a/n

J52	W52	W53	W56
-----	-----	-----	-----

- 5 GHzワイヤレスLAN機器の屋外使用は法令により禁止されています。

故障かな？と思ったら

本機を使用中にトラブルが発生した場合は、ソニーの相談窓口にご相談になる前に、もう一度下記の流れに従ってチェックしてください。メッセージ一覧(50ページ)も合わせてご覧ください。メッセージなどが表示されている場合は、書きとめておくことをおすすめします。

手順1 本書で調べる

この「故障かな？と思ったら」をチェックし、該当する項目を調べる。
本書の手順の中にも、様々な情報があります。該当する項目を調べてください。

手順2 「サポート・お問い合わせ」のホームページで調べる

<https://www.sony.jp/support/netjuke/>で調べる。
最新のサポート情報や、よくあるお問い合わせとその回答を掲載しています。

手順3 それでもトラブルが解決しないときは

ソニーの相談窓口(裏表紙)またはお買い上げ店にご相談ください。

ご相談になるときは次のことをお知らせください。

- 型名: CMT-SX7
- シリアルNo.: 本体の背面に記載されています。
- 故障の状態: できるだけ詳しく
- 故障したときに再生していた音源:
 - ディスク: ディスク名
 - ウォークマン®: モデル名(「対応機器とバージョン」(41ページ)から選択)
 - iPhone/iPad/iPod: モデル名(「対応機器とバージョン」(41ページ)から選択)
- USB機器: モデル名
- ルーター/アクセスポイント: モデル名
- 購入年月日:
- お買い上げ店:

ご注意

機能によっては、本体のアップデートが必要な場合があります。

スタンバイランプが赤色に点滅しているときは

すぐに電源プラグを抜いて、スピーカーコードがショートしていないか確認してください。

異常がなければ、スタンバイランプが点灯していないことを確認して、再度電源プラグをコンセントにつなぎ、電源を入れてください。それでもトラブルが解決しないときは、ソニーの相談窓口（裏表紙）またはお買い上げ店にご相談ください。

共通

電源が入らない。

- 電源プラグをコンセントにしっかり差し込んでください。

本機が突然スタンバイモードに移行してしまう。

- 本機のオートスタンバイ機能によって、無操作または無音の状態が約15分経過すると自動的にスタンバイモードに移行します。詳しくは、「オートスタンバイ機能を設定する」(33ページ)をご覧ください。

時計設定や再生／録音タイマーの操作が突然キャンセルされる。

- 無操作の時間が約1分経過すると、時計設定や再生／録音タイマーの操作は自動的にキャンセルされます。はじめから操作をやり直してください。

音が出ない。

- スピーカーコードを正しく接続してください。
- 本機の音量を上げてください。
- ヘッドホン端子にヘッドホンをつないでいる場合は、取りはずしてください。
- LINE IN (外部入力) 端子に外部機器の出力端子を正しく接続し、本機のファンクションを外部入力 (LINE IN) に切り換えてください。
- 一時的にラジオ局が放送を中止している場合があります。

左右の音のバランスが悪い、または逆転している。

- スピーカーをできるだけ左右対称の位置に設置してください。
- スピーカーコードの左右や＋／－が正しく接続されているか、確認してください。

ブーンという音がする、ノイズがひどい。

- テレビやビデオなどのノイズの原因になりやすい機器から本機を離して設置してください。
- 電源プラグを別のコンセントに接続してみてください。

- 別売りのノイズフィルター付き電源タップの使用をおすすめします。ノイズが低減できる場合があります。

リモコンで操作できない。

- リモコンと本体の間の障害物を取り除き、本体を蛍光灯から離して設置してください。
- リモコンを本体のリモコン受光部に向けてください。
- リモコンを本体に近づけて操作してください。
- リモコンの電池を新しいものに交換してください。

CD-DA/MP3ディスク

表示窓に「Locked」が表示され、ディスクトレイからディスクを取り出せない。

- お買い上げ店またはソニーの相談窓口にご相談ください。

ディスクやファイルを再生できない。

- 「ファイナライズ処理」が行われていないディスク（書き込み済みのCD-RやCD-RWで、さらに書き込みが可能な状態のディスク）が入っています。

音飛びする、再生が始まらない。

- ディスクが汚れている、またはディスクに傷がついている。汚れの場合は、拭き取ってください。
- 振動のない場所（安定した台の上など）に本機を設置してください。
- スピーカーを本機から離したり、設置位置を変えてみてください。音量によっては、スピーカーの振動が音飛びの原因となることがあります。
- DTSディスクを使用している。DTSディスクを使用しないでください。

再生が1曲目から始まらない。

- シャッフル再生やプログラム再生になっていないか確認してください (14ページ)。

再生が始まるまでに時間がかかる。

- 次のような場合、ディスクの再生が始まるまでにしばらく時間がかかることがあります。
 - － ディスク上のファイル構造が極端に複雑になっている。
 - － マルチセッション形式で記録したディスク。
 - － フォルダ数が多いディスク。

ウォークマン®/“ポケットビット”

対応するウォークマン®については、「対応機器とバージョン」(41ページ)をご覧ください。

ウォークマン®/“ポケットビット”に録音できない。

- 「Not Supported」と表示されるときは、お使いのウォークマン®/“ポケットビット”が本機での録音に対応していません。

録音が始まらない。

- 次のような原因が考えられます。
 - － ウォークマン®/“ポケットビット”に空き容量がない。
 - － 録音可能なファイルやフォルダ数が上限に達している。

録音が完了前に停止してしまう。

- 次のような原因が考えられます。
 - － ウォークマン®/“ポケットビット”に空き容量がない。
 - － 録音可能なファイルやフォルダ数が上限に達している。
- 本機の電源とウォークマン®の電源を入れ直してから録音をやり直してください。

録音に失敗する。

- 対応機種以外のウォークマン®/“ポケットビット”を使っている。
- 本機の電源とウォークマン®の電源を入れ直してから録音をやり直してください。
- 録音中に、本機からウォークマン®/“ポケットビット”をはずした。
録音中にこのような操作を行うと、曲の途中まで録音された不完全なファイルがウォークマン®/“ポケットビット”に残る場合があります。不完全に録音されたファイルをウォークマン®/“ポケットビット”から削除し(31ページ)、録音をやり直してください。詳しくは、ウォークマン®/“ポケットビット”の取扱説明書をご覧ください。それでも録音に失敗する場合は、ウォークマン®/“ポケットビット”の故障の可能性があります。お買い上げ店またはソニーの相談窓口にご相談ください。
- ウォークマン®/“ポケットビット”への録音や消去を多く繰り返すと、ウォークマン®/“ポケットビット”内部のファイル構造の断片化によって、録音動作に必要な連続した空き容量が確保できなくなり、録音に失敗することがあります。このような場合には、ウォークマン®/“ポケットビット”の不要データを削除するなどして空き容量を確保してください。詳しくは、ウォークマン®/“ポケットビット”の取扱説明書をご覧ください。それでも録音に失敗する場合は、お買い上げ店またはソニーの相談窓口にご相談ください。

ウォークマン®/“ポケットビット”からファイルやフォルダを削除できない。

- 「Not Supported」と表示されるときは、お使いのウォークマン®/“ポケットビット”が本機での削除に対応していません。
対応機種以外のウォークマン®/“ポケットビット”を使っている場合は、パソコン上で削除してく

ださい。詳しくは、ウォークマン®/“ポケットビット”の取扱説明書をご覧ください。

- 削除中に、本機からウォークマン®/“ポケットビット”をはずした、またはウォークマン®の電源を「切」にした。
削除中にこのような操作を行うと、正常に削除が行われません。削除をやり直してください。ウォークマン®/“ポケットビット”の取扱説明書も合わせてご覧ください。それでも削除できない場合は、ウォークマン®/“ポケットビット”の故障の可能性があります。お買い上げ店またはソニーの相談窓口にご相談ください。

BLUETOOTH

ペアリング(機器登録)できない、SongPal設定時に、本機とスマートフォン/ iPhoneをBLUETOOTH接続できない。

- 本機とBLUETOOTH機器の距離を1 m以内に近づけてください。
- 本機を初期化すると、iPhone/iPad/iPodやパソコンと接続できなくなる場合があります。この場合は、iPhone/iPad/iPodやパソコン側の本機の登録情報をいったん削除して、ペアリングをやり直してください。

ワンタッチ接続(NFC)できない。

- スマートフォン/タブレットが反応するまで本機のNマークに近づけたままにして、反応しない場合は、スマートフォン/タブレットをゆっくり前後左右に動かしてください。
スマートフォンが反応したら、スマートフォン/タブレットの画面の指示に従って接続を完了してください。
- スマートフォン/タブレットのNFC機能がオンになっているか確認してください。
- スマートフォン/タブレットにケースを付けている場合は、ケースをはずしてください。
- NFCの受信感度は、お使いのスマートフォン/タブレットによって異なります。接続に何度も失敗する場合は、スマートフォン/タブレットのお手入れ操作で接続/切断してください。
- 下記ホームページの機種別サポートで対応機種をご確認ください。
<https://www.sony.jp/support/netjuke/>

音が出ない。

- 本機とBLUETOOTH機器がBLUETOOTH接続されていることを確認してください。
- BLUETOOTH機器と本機をもう一度ペアリングしてください。

音が割れる、ノイズが出る、音が途切れる。

- 本機をBLUETOOTH機器に近づけてください。障害物があるときには移動してください。
- 「Bluetooth Codec」を「SBC」にしてください(23ページ)。

iPhone/iPad/iPod (USB接続時)

対応するiPhone/iPad/iPodについては、「対応機器とバージョン」(41ページ)をご覧ください。

iPhone/iPad/iPodを再生できない。

- iPhone/iPad/iPodが正しく接続されているかどうか確認してください。
- iPhone/iPad/iPodを再生している場合は、再生を停止してから本機に接続してください。
- iPhone/iPad/iPodが最新のソフトウェアに更新されているかどうか確認してください。
- 本機の音量を上げてください。
- 対応していないiPhone/iPad/iPodを接続している。

音が歪む。

- iPhone/iPad/iPodが正しく接続されているかどうか確認してください。
- 本機の音量を上げてください。
- iPhone/iPad/iPodのイコライザ設定を「Off(オフ)」または「Flat(フラット)」にしてください。
- 対応していないiPhone/iPad/iPodを接続している。

iPhone/iPad/iPodが動作しない。

- iPhone/iPad/iPodで起動中のすべてのiOSアプリケーションを終了してください。詳しくは、お使いのiPhone/iPad/iPodに付属の取扱説明書をご覧ください。
- iPhone/iPad/iPodが正しく接続されているかどうか確認してください。
- iPhone/iPad/iPodが最新のソフトウェアに更新されているかどうか確認してください。
- 本機のリモコンや本体の操作ボタンを使ってiPhone/iPad/iPodを操作できない場合があります。その場合は、iPhone/iPad/iPodの操作ボタンを使って操作してください。

iPhone/iPad/iPodが充電されない。

- iPhone/iPad/iPodが Lightning (USB FRONT) 端子に iPhone/iPad/iPod に付属のケーブルで正しく接続されているかどうか確認してください。
- iPhone/iPad/iPodを取りはずして、再度接続してください。iPhone/iPad/iPodの充電状態について詳しくは、iPhone/iPad/iPodの取扱説明書をご覧ください。

USB機器

対応するUSB機器については、「対応機器とバージョン」(41ページ)をご覧ください。

対応していないUSB機器を接続している。

- 次のような問題が発生することがあります。
 - ー USB機器が認識されない。
 - ー ファイルまたはフォルダの名前が表示されない。
 - ー 再生できない。
 - ー 音がとぶ。
 - ー ノイズが出る。
 - ー 歪んだ音が出力される。

音が出ない。

- USB機器が正しく接続されていません。本機の電源を切り、USB機器を接続し直してください。

ノイズ・音飛びが発生する、音が歪む。

- 対応していないUSB機器を接続しています。互換性のあるUSB機器を接続してください。
- 本機の電源を切りUSB機器を接続し直したあと、本機の電源を入れてください。
- 音源そのものにノイズや歪みがないか確認してください。ノイズは転送の過程で混入する場合もあります。このようなときは、ファイルを削除してからもう一度転送してください。
- ファイルをエンコードするときのビットレートが低い。ビットレートを上げてUSB機器へ転送してください。
- ハイレゾ再生の場合は、USB2.0 High Speed対応機器を使用してください。

長時間「Reading」が表示される。または再生が始まるまで時間がかかる。

- 次のような場合、USB機器の読み込みに時間がかかることがあります。
 - ー USB機器に保存されているファイルやフォルダ数が多い。
 - ー USB機器内のファイル構造が極端に複雑になっている。
 - ー メモリー容量が大きすぎる。
 - ー USB機器内部のメモリが壊れている。

曲名やフォルダ名(アルバム名)が正しく表示されない。

- USB機器に保存されているデータが破損している可能性があります。もう一度転送をやり直してください。
- 本機で表示できる文字コードは次のとおりです。
 - ー 大文字(A～Z)。
 - ー 数字(0～9)。
 - ー 記号(<>*,[]@¥_)。
 その他の文字は「_」で表示されます。

USB機器が認識されない。

- 本機の電源を切りUSB機器を接続し直したあと、本機の電源を入れてください。
- 対応していないUSB機器を接続している。
- USB機器が正しく動作しない場合は、USB機器に付属の取扱説明書をご覧ください。

再生が始まらない。

- 本機の電源を切りUSB機器を接続し直したあと、本機の電源を入れてください。
- 対応していないUSB機器を接続している。

再生が1曲目から始まらない。

- 再生モードがシャッフルなどノーマル再生以外のモードにセットされていないか確認してください。

USB機器が充電されない。

- USB機器がUSB端子に正しく接続されているかどうか確認してください。
- 本機の電源が入っていないときは、USB機器は充電できません。
- 対応していないUSB機器を接続している。
- USB機器を取りはずして、再度接続してください。USB機器の充電状態について詳しくは、USB機器の取扱説明書をご覧ください。

ラジオ

雑音が入る(「STEREO」が点滅する)、または放送が受信できない。

- アンテナを正しく接続してください。
- 受信状態のよい場所や方向を探し、アンテナを設置し直してください。
- アンテナを本体やスピーカーコード、他のAV機器から離してください。
- 本機の近くにある電気器具の電源を切ってください。

複数の放送局が同時に聞こえる。

- アンテナの場所やスピーカーコード、方向を調整してアンテナを設置し直してください。
- アンテナをコードクリップなどで束ね、長さを調整してください。

ネットワーク

本機をネットワークに接続できない。(ホームネットワーク上の他の機器が本機を見つけれられない、または認識できない。)

- 表示窓に  が点灯しているか確認してください。
- ルーターのない環境で本機を使う場合、本機の電源を入れてからIPアドレスを取得するまでに2分ほどかかります。

- 固定IPアドレスを使用する場合、他の機器でそのアドレスを使用していることがあります。その場合は違うIPアドレスをお使いください。

本機が無線LANでネットワークに接続できない。

- ネットワーク(LAN)ケーブルを本機に接続しないでください。ネットワーク(LAN)ケーブルが接続されていると、本機は自動的に有線LAN接続のネットワークに接続しようとします。
- アクセスポイント(ワイヤレスLANルーター)の設定が正しいかどうかを確認してください。アクセスポイントのSSIDステルスモードがONになっている場合はOFFにしてください。アクセスポイント設定の詳細については、無線LANルーター／アクセスポイントの取扱説明書をご覧ください。

WPSを使用してネットワークに接続することができない。

- アクセスポイントスキャンを使ってアクセスポイントを探してからネットワークを設定してください。
- アクセスポイントがWEPに設定されていると、WPSを使用してネットワークに接続できません。
- 無線LANルーター／アクセスポイントのファームウェアを最新のバージョンにアップデートしてください。

音楽配信サービス

本機をサービスに接続できない。

- 無線LANルーター／アクセスポイントの電源が入っていることを確認してください。
- 表示窓に  が点灯しているか確認してください。点灯していないときは、無線ネットワークの設定をやり直してください。詳しくは、「無線LANスタートガイド」をご覧ください。
- 本機を無線ネットワークで接続しているときは、本機と無線LANルーター／アクセスポイントを近づけて設置し、設定をやり直してください。
- ご契約のインターネットプロバイダーによる制約で一度に一つの機器しかインターネットに接続できない場合、他の機器がすでにインターネットに接続していれば本機は接続することができません。回線業者かサービスプロバイダーにご相談ください。
- お使いの携帯機器(Android機器、Xperia機器、iPhone/iPod touch)の電源をいったん切って再び電源を入れた場合は、SongPalアプリケーションをもう一度起動してください。

ホームネットワーク

コントローラー(操作機器)から本機を見つけられない。(コントローラーが本機を閲覧することができない。)

- コントローラーがホームネットワークに接続されていることを確認してください。
- アクセスポイントのマルチキャスト制御設定が「使用する」になっている。

音楽が自動的に始まった。

- 本機が他の機器から操作されている可能性があります。操作を受け付けないようにするには、BLUETOOTH/ネットワークスタンバイモードをオフにしてください(33ページ)。

音声が届切れる。

- DLNA対応のサーバーが過負荷状態です。現在起動しているすべてのアプリケーションを終了してください。
- 無線の電波状況に問題が発生しています。電子レンジなどを使っているときは、使用を中止してください。
- 一部のIEEE802.11n互換無線LANルーター/アクセスポイントにおいて、セキュリティ方法にWEPまたはWPA/WPA2-PSK(TKIP)が選ばれていると、無線LAN通信速度が低減することがあります。その場合は、WPA/WPA2-PSK(AES)に変更してください。
暗号化(セキュリティ)の構成は機種により異なります。お手持ちのルーター/アクセスポイントの取扱説明書をご覧ください。

選局や再生ができない。

- 音楽が不正な内容でないか、またはサーバーから削除されていないかを確認してください。サーバーの取扱説明書をご覧ください。
- 本機で対応していない音声フォーマットをサーバーが再生しようとしています。サーバーでフォーマット情報を確認してください。
- 無線LANルーター/アクセスポイントのマルチキャスト制御が動作中であれば、動作を停止させてください。詳しくは無線LANルーター/アクセスポイントの取扱説明書をご覧ください。音声が出力されるまでに数分かかることがあります。
- サーバーが本機からのアクセスを許可していない可能性があります。本機からアクセスできるようにサーバーの設定を変更してください。サーバーの取扱説明書をご覧ください。

AirPlay

対応するiPhone/iPad/iPod touchについては、「対応機器とバージョン」(41ページ)をご覧ください。

iPhone/iPad/iPod touchから本機をみつけれない。

- 「ネットワーク」の「本機をネットワークに接続できない。」の項目をご覧ください(48ページ)。
- iPhone/iPad/iPod touchがiTunesを備えたパソコンがホームネットワークに接続されていることを確認してください。
- 本機とあわせてお使いになる前に、iOSやiTunesを最新のバージョンにアップデートしてください。

音楽が自動的に始まった。

- 本機が他の機器から操作されている可能性があります。操作を受け付けないようにするには、BLUETOOTH/ネットワークスタンバイモードをオフにしてください(33ページ)。

音声が届切れる。

- サーバーが過負荷状態です。現在起動しているすべてのアプリケーションを終了してください。

本機が操作できない。

- iPhone/iPad/iPod touchやiTunesのソフトウェアを最新のバージョンにアップデートしてください。

お買い上げ時の状態にリセットするには

「故障かな?と思ったら」の該当項目をチェックしても正常に動作しない場合は、次の手順で本機をお買い上げ時の状態にリセットしてください。本体のボタンを使ってリセットを行います。

- 1 電源プラグをコンセントから抜き、スタンバイランプが点灯していないことを確認した後に、再度接続して、電源を入れる。
- 2 本体のPUSH ENTERボタンとI/Oボタンを「All Reset」が表示されるまで押し続ける。
ラジオ局のプリセット設定や時計、タイマー、ネットワークなどの設定が、お買い上げ時の状態に戻ります。また、インターネットの音楽配信サービス(Music Services)のログインIDとパスワード情報は削除されます。
リセットを行っても正常に動作しない場合は、ソニーの相談窓口にご相談ください。

ご注意

本機を廃棄したり、他人に譲渡したりするときは、セキュリティ保護のため、必ず本機のリセットを行ってください。

メッセージ一覧

本機の使用中に、次のようなメッセージが表示、または点滅することがあります。

Cannot Download

ソフトウェアのアップデートを実行中、更新データをダウンロードできませんでした。「ネットワーク経由のアップデートに失敗したときは」(39ページ)をご覧ください、本機の状態に合わせた方法でソフトウェアをアップデートしてください。

Cannot Play

CD-ROMやDVDディスクなど、再生できないディスクをセットした。

Checking

曲を削除する手順を開始した(31ページ)。ウォークマン®/“ポケットビット”内のファイルを読み込み、ファイルを削除するモードへ移行中です。

Complete!

- FM/AM局のプリセット登録が正常に完了した。
- ウォークマン®/“ポケットビット”の曲、フォルダの削除が完了した。

Data Error

- ウォークマン®/“ポケットビット”内の曲を削除するとき、削除対象の曲を再生しようとしたら再生できないファイルを選んだ。
- 再生できないファイルを再生しようとした。

Device Full

ウォークマン®/“ポケットビット”の空き容量がない。

Erase Error

ウォークマン®/“ポケットビット”の曲やフォルダ(アルバム)の削除に失敗した。

Error

ウォークマン®/“ポケットビット”を本機からはずして、再び接続し直してください。

Fatal Error

曲の録音中や削除中にウォークマン®/“ポケットビット”を取りはずした。

Folder Full

録音可能なフォルダ数が上限に達している。

Initial

ネットワーク設定を初期化しています。このとき、いくつかのボタンは操作できなくなります。

Locked

ディスプレイがロックされ、ディスクが取り出せない。ソニーの相談窓口にご相談ください。

New Track

ラジオまたは外部入力からの音声を録音中に新しいトラックが作られた。

No Connect

ネットワークに接続できません。

No Device

- ウォークマン®/“ポケットビット”が接続されていない状態で、録音しようとした(27ページ)。
- ウォークマン®/“ポケットビット”が接続されていない状態で、曲を削除しようとした(31ページ)。
- USB機器が接続されていない。または接続したUSB機器を本機から取りはずした。

No Disc

ディスクが入っていない、または本機では再生できないディスクをセットした。

No Memory

USB機器にメモリーカードが挿入されていない。または、メモリーカードを認識していない。

No Step

プログラムが登録されていない。

Not Supported

お使いのウォークマン®/“ポケットビット”が、本機での録音、曲やフォルダの削除に対応していない。

No Track

- ウォークマン®/“ポケットビット”に削除可能な曲がない。
- ディスクやUSB機器に本機で再生できるファイルが入っていない。

Not In Use

使用できないボタンを押した。

Over Current

USB機器を取りはずしたあと本機の電源を切り、再び電源を入れてください。

Push STOP

ディスクやUSB機器の再生中に再生モードを変えようとした。

Reading

ディスクやUSB機器の情報を読み込んでいる。このとき、いくつかのボタンは操作できなくなります。

Step Full!

プログラム登録中に26曲目を登録しようとした。

Time NG!

再生タイマーや録音タイマーの設定で、開始時刻と終了時刻を同じに設定した。

Track Full

録音可能なファイル数が上限に達している。

Update Error

ソフトウェアのアップデート(更新)ができませんでした。「ネットワーク経由のアップデートに失敗したときは」(39ページ)をご覧ください。USBメモリーを使ったアップデートを実施してください。USBメモリーによるアップデートが実施できない、または、USBメモリーによるアップデート中にも同じメッセージが表示された場合は、お買い上げ店またはソニーの相談窓口にご相談ください。

保証書とアフターサービス

本機は日本国内専用です。電源電圧や放送規格の異なる海外ではお使いになれません。

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際、お買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときはサービスへ

お買い上げ店、またはソニーの相談窓口(裏表紙)にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社ではマルチオーディオプレーヤーシステムの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後8年間保有しています。ただし、故障の状況その他の事情により、修理に代えて製品交換をする場合がありますのでご了承ください。

部品の交換について

この製品は、修理の際に交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際、交換した部品は回収させていただきます。

主な仕様

アンプ部

実用最大出力 (JEITA*)

50 W + 50 W (6 Ω, 1 kHz)

* JEITA (電子情報技術産業協会) 規格による測定値です。

入力／出力端子

LINE IN (外部入力) 端子

入力感度: 2 V

入力インピーダンス: 47 kΩ

OPTICAL IN (光デジタル音声入力) 端子

ヘッドホン端子

ステレオミニジャック 8 Ω以上

USB端子部

ψ (USB FRONT) 端子 (本体前面)

本機に対応したUSBメモリー、ウォークマン®、iPhone/iPad/iPodを接続します。

対応フォーマット*1

MP3: 32/44.1/48 kHz, 16-320 kbps (CBR/VBR)

AAC*2: 32/44.1/48/88.2/96 kHz, 16-320 kbps (CBR/VBR)

WMA*2: 32/44.1/48 kHz, 16-320 kbps (CBR/VBR)

WAV: 32/44.1/48/88.2/96/176.4/192 kHz (16/24 bit)

AIFF: 32/44.1/48/88.2/96/176.4/192 kHz (16/24 bit)

FLAC: 32/44.1/48/88.2/96/176.4/192 kHz (16/24 bit)

ALAC: 32/44.1/48/88.2/96/176.4/192 kHz (16/24 bit)

DSD*3 (DSF/DSDIFF): 2.8 MHz (1 bit)

転送速度

High-speed

対応USBデバイス

Mass Storage Class (MSC)

最大出力電流

2.1 A MAX

ψ (USB REAR) 端子 (本体背面)

付属のUSBケーブルを使って、本機に対応したコンピューターをつなぎます。ハイレゾ対応ウォークマン®やXperiaをつなぐときは、付属のUSBケーブルと専用ケーブル (別売) をお使いください。

対応フォーマット*1

PCM: 44.1/48/88.2/96/176.4/192 kHz (16/24/32 bit)

DSD (DSF/DSDIFF): 2.8 MHz (1 bit)

*1 あらゆるエンコード／ライティングソフトウェア、録音機器、記録媒体との互換性を保証するものではありません。

*2 DRM (デジタル著作権保護) が付加されているファイルや、音楽配信サイトなどで購入した音楽データは著作権保護されているため本機では再生できません。著作権保護されている曲やファイルを再生しようとした場合は、本機は著作権保護されていない次の曲／ファイルを再生します。

*3 PCM変換されて出力されます。

CD-DA/MP3ディスクプレーヤー部

形式

コンパクトディスクデジタルオーディオシステム

レーザーの仕様

放射時間: 連続

レーザー出力*: 44.6 μW 未満

* この出力値は、7 mmの開口部にて光学ピックアップブロックの対物レンズ面より200 mmの距離で測定したものです。

周波数特性

20 Hz～20 kHz

SN比

90 dB以上

ダイナミックレンジ

90 dB以上

チューナー部

回路方式

FM/AMチューナー、スーパーヘテロダイン方式

受信周波数

FM: 76.0 MHz～95.0 MHz (100 kHzステップ)

AM: 531 kHz～1,602 kHz (9 kHzステップ)

アンテナ端子

FM: 75 Ω、不平衡型

AM: ループアンテナ用

スピーカー部

形式

2 way スピーカーシステム バスレフ型

ウーファー: 100 mm コーン型

ツイーター: 27 mm バランスソフトドーム型

定格インピーダンス

6 Ω

最大外形寸法

約 145 mm × 245 mm × 225 mm

質量

約 3.5 kg (1台)

BLUETOOTH部

通信方式

BLUETOOTH標準規格Ver.3.0

出力

BLUETOOTH標準規格Power Class 2

最大通信距離

見通し距離約10 m^{*1}

使用周波数帯域

2.4 GHz 帯 (2.4000 GHz ~ 2.4835 GHz)

変調方式

FHSS

対応BLUETOOTHプロファイル^{*2}

A2DP (Advanced Audio Distribution Profile)

AVRCP (Audio Video Remote Control Profile)

対応コンテンツ保護

SCMS-T方式

対応コーデック

SBC (Sub Band Codec)、AAC、LDAC

伝送帯域 (A2DP)

20 Hz ~ 20,000 Hz (44.1 kHzサンプリング時)

^{*1} 通信距離は目安です。周囲環境により通信距離が変わる場合があります。

^{*2} BLUETOOTH プロファイルとは、BLUETOOTH 機器の特性ごとに機能を標準化したものです。

ネットワーク

LAN端子

RJ-45

10BASE-T/100BASE-TX

(ネットワークの使用環境により、通信速度に差が生じることがあります。本機は10BASE-T/100BASE-TXの通信速度や通信品質を保証するものではありません。)

内蔵無線LAN

通信方式、IEEE 802.11a/b/g/n

使用周波数帯域:

2.4 GHz/5 GHz 帯

WEP-64bit、WEP-128bit

WPA/WPA2-PSK (AES)

WPA/WPA2-PSK (TKIP)

対応フォーマット

PCM 192 kHz/24 bit、DSD 2.8 MHz/1 bit

DSD (DSF、DSDIFF)、LPCM (WAV、AIFF)、FLAC、

ALAC、MP3、AAC、WMA

その他

電源

AC 100 V、50 Hz/60 Hz

消費電力

46 W (通常動作時 (JEITA*))

最大外形寸法 (幅×高さ×奥行き、最大突起部含む、スピーカー除く)

約225 mm×115 mm×263 mm

質量 (スピーカー除く)

約 2.7 kg

* JEITA (電子情報技術産業協会) 規格による測定値です。

付属品

リモコン (RMT-AM100U) (1) / リモコン用単4形 (R03) 乾電池 (2) / USBケーブル (1) / FMアンテナ (1) / AMループアンテナ (1) / スピーカーコード (2) / 取扱説明書 (本書) (1) / スタートガイド (1) / 保証書 (1) / 「製品登録」のおすすめ (1)

仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

待機時消費電力: 0.5 W (BLUETOOTH / ネットワークスタンバイモード「Off」時)

待機時消費電力: 6 W (BLUETOOTH / ネットワークスタンバイモード「On」時)

ライセンスに関する注意

本製品には、弊社がその著作権者とのライセンス契約に基づき使用しているソフトウェアが搭載されており、当該ソフトウェアの著作権者様の要求に基づき、弊社はこれらの内容をお客様に通知する義務があります。
ライセンスに関して、内容をご一読くださいますようお願い申し上げます。
ライセンス内容は、以下のURLよりご覧ください。
<http://rd1.sony.net/help/speaker/sl/15/>



GNU GP/LGPL適用ソフトウェアに関するお知らせ

本製品には、以下のGNU General Public License (以下「GPL」とします)の適用を受けるソフトウェアが含まれています。お客様には、添付のGPL/LGPLの条件にしたがい、これらソフトウェアのソースコードの入手、改変、再配布の権利があることをお知らせいたします。
ソースコードは、Webで提供しております。
ダウンロードする際には、以下のURLにアクセスし、モデル名「CMT-SX7」をお選びください。
URL: <http://oss.sony.net/Products/Linux>
なお、ソースコードの中身についてのお問い合わせはご遠慮ください。

アップデートに関する注意

本機は、有線LANもしくは無線LANでインターネットに接続してご使用になる場合、ソフトウェアを、自動で最新にアップデート(更新)する機能を有しています。
アップデートすることで、新しい機能が追加されたり、より便利かつ安定してご使用になることができます。
ソフトウェアを自動でアップデートさせたくない場合は、スマートフォン/iPhoneにインストールしたSongPalを使って、本機能を無効にすることができます。
ただし、本機能を無効にしても、安定してご使用いただくため等により、ソフトウェアを自動でアップデートすることがあります。
また、本機能を無効にしても、お客様の操作で、システムソフトウェアをアップデートすることは可能です。
詳しい設定方法、操作方法は、この取扱説明書の「ソフトウェアをアップデートする」をご確認ください。
ソフトウェアアップデート中は、本機をご使用いただけない場合があります。

第三者が提供するサービスに関する免責事項

第三者が提供するサービスは予告なく、変更・停止・終了することがあります。ソニーは、そのような事態に対していかなる責任も負いません。

型名 : CMT-SX7

よくあるお問い合わせ、窓口受付時間などはホームページをご活用ください。

<https://www.sony.jp/support/>

使い方相談窓口

フリーダイヤル..... 0120-333-020
携帯電話・PHS・一部のIP電話... 050-3754-9577

修理相談窓口

フリーダイヤル..... 0120-222-330
携帯電話・PHS・一部のIP電話... 050-3754-9599
※取扱説明書・リモコン等の購入相談はこちらへお問い合わせください。

FAX(共通)0120-333-389

左記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に

「306」+「#」

を押してください。
直接、担当窓口へおつなぎします。



ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

* 4 5 6 7 6 6 2 0 4 * (1)